



UP550



UP55A

目次

- 1. はじめに 1
- 2. GREENシリーズとUTAdvancedシリーズの違い（仕様比較表） 2
 - 2.1 運転パラメータ／プログラムパターン設定 2
 - 2.2 セットアップパラメータ 14

Blank Page

1. はじめに

本書は、GREENシリーズプログラム調節計UP550から、UTAdvancedシリーズプログラム調節計UP55Aにリプレースするときに、お客様に仕様の違いを理解していただくため、仕様比較をパラメータごとにまとめた資料です。

殆どのパラメータはリプレースできますが、機能向上のため変更したパラメータもありますので、本書で仕様の確認をしていただき、安心してリプレースを行っていただきますようお願いいたします。

本書に掲載していないパラメータについては、UP550またはUT55Aのユーザーズマニュアルをご覧ください。

なお、特注仕様に関しては本書で扱っておりませんので、当社営業部にお問い合わせください。

対象製品

本書は、下記の製品を対象としています。

	GREENシリーズ	UTAdvanced
プログラム調節計	UP550	UP55A

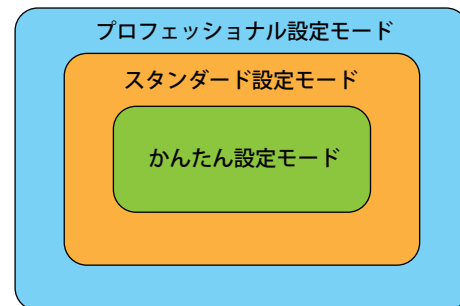
商標

- ・本文中に使われている会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・本文中の各社の登録商標または商標には、TM、®マークは表示しておりません。

パラメータの表示レベル

UP55Aは、以下の表示レベルを設定することができます。

表示レベル	
EASY	かんたん設定モード
STD	スタンダード設定モード (初期値)
PRO	プロフェッショナル設定モード



工場出荷時は、「STD」スタンダード設定モードに設定されています。

「STD」は、標準的なパラメータを表示します。仕様比較表の表示レベル欄に「EASY」または「STD」と表記したパラメータが表示されます。

- ・ 表示するパラメータを減らしたいときは、表示レベルを「EASY」に変更する必要があります。表示レベル欄に「EASY」と表記したパラメータだけが表示されるようになります。
- ・ すべてのパラメータを表示したいときは、表示レベルを「PRO」に変更する必要があります。

※表示レベルの設定については、UP55Aのユーザーズマニュアルをご覧ください。

2. GREENシリーズとUTAdvancedシリーズの違い（仕様比較表）

2.1 運転パラメータ／プログラムパターン設定

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)															
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容												
運転モード切替		なし	機能なし	EASY	MODE	MODE	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転モード</td> <td>RESET: プログラム運転停止 PROG: プログラム運転開始 LOCAL: ローカル運転開始 REM: リモート運転開始</td> <td>RESET</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	運転モード	RESET: プログラム運転停止 PROG: プログラム運転開始 LOCAL: ローカル運転開始 REM: リモート運転開始	RESET						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
運転モード	RESET: プログラム運転停止 PROG: プログラム運転開始 LOCAL: ローカル運転開始 REM: リモート運転開始	RESET																	
ローカル運転	MODEキー	LOC	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカル運転</td> <td>プログラム運転時または運転停止時からローカル運転にしたいとき、“LOC=ON”します。</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ローカル運転	プログラム運転時または運転停止時からローカル運転にしたいとき、“LOC=ON”します。	—			なし	機能なし						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
ローカル運転	プログラム運転時または運転停止時からローカル運転にしたいとき、“LOC=ON”します。	—																	
プログラムパターン番号選択						PTNO.	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プログラムパターン番号選択</td> <td>0: パターン選択なし 1～30 または99(付加仕様/AP 付きの場合)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	プログラムパターン番号選択	0: パターン選択なし 1～30 または99(付加仕様/AP 付きの場合)	0						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
プログラムパターン番号選択	0: パターン選択なし 1～30 または99(付加仕様/AP 付きの場合)	0																	
プログラム早送り		なし	機能なし			P.FWD	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プログラム運転早送り</td> <td>1: 1倍速 2: 2倍速 5: 5倍速 10: 10倍速 ※ この機能は、プログラムパターンが正しく設定されているかを確認するときに使用します。セグメント時間とタイムイベントの時間のみを早めます。 ※ 早送り機能実行後は、1倍速(通常)に戻ります。</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	プログラム運転早送り	1: 1倍速 2: 2倍速 5: 5倍速 10: 10倍速 ※ この機能は、プログラムパターンが正しく設定されているかを確認するときに使用します。セグメント時間とタイムイベントの時間のみを早めます。 ※ 早送り機能実行後は、1倍速(通常)に戻ります。	1						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
プログラム運転早送り	1: 1倍速 2: 2倍速 5: 5倍速 10: 10倍速 ※ この機能は、プログラムパターンが正しく設定されているかを確認するときに使用します。セグメント時間とタイムイベントの時間のみを早めます。 ※ 早送り機能実行後は、1倍速(通常)に戻ります。	1																	
オートチューニング実行	LP1 > PAR	AT	一括AT実行機能(9)あり <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オートチューニング</td> <td>OFF: オートチューニング中止 1: 1組目のPIDに対するオートチューニング 2: 2組目のPIDに対するオートチューニング 3: 3組目のPIDに対するオートチューニング 4: 4組目のPIDに対するオートチューニング 5~8: 1~4と同様にグループ別に実行 9: 1~8全ての組のPIDに対して自動的に実行</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	オートチューニング	OFF: オートチューニング中止 1: 1組目のPIDに対するオートチューニング 2: 2組目のPIDに対するオートチューニング 3: 3組目のPIDに対するオートチューニング 4: 4組目のPIDに対するオートチューニング 5~8: 1~4と同様にグループ別に実行 9: 1~8全ての組のPIDに対して自動的に実行	OFF			AT	一括AT実行機能なし 個別のAT実行のみ可能(1~8) (R)はリファレンス偏差用PIDのATを新規追加 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オートチューニング起動/停止</td> <td>OFF: オートチューニングオフ 1~8: オートチューニング開始、チューニング結果は指定した番号のPIDに格納 R: リファレンス偏差用のPIDに格納</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	オートチューニング起動/停止	OFF: オートチューニングオフ 1~8: オートチューニング開始、チューニング結果は指定した番号のPIDに格納 R: リファレンス偏差用のPIDに格納	OFF
名称	設定範囲と解説	初期値																	
オートチューニング	OFF: オートチューニング中止 1: 1組目のPIDに対するオートチューニング 2: 2組目のPIDに対するオートチューニング 3: 3組目のPIDに対するオートチューニング 4: 4組目のPIDに対するオートチューニング 5~8: 1~4と同様にグループ別に実行 9: 1~8全ての組のPIDに対して自動的に実行	OFF																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
オートチューニング起動/停止	OFF: オートチューニングオフ 1~8: オートチューニング開始、チューニング結果は指定した番号のPIDに格納 R: リファレンス偏差用のPIDに格納	OFF																	
PID番号表示		なし	機能なし			PID	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PID番号</td> <td>選択中のPIDグループ番号が表示されます。(表示のみ) 1~8, R: リファレンス偏差用のPIDグループ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	PID番号	選択中のPIDグループ番号が表示されます。(表示のみ) 1~8, R: リファレンス偏差用のPIDグループ	1						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
PID番号	選択中のPIDグループ番号が表示されます。(表示のみ) 1~8, R: リファレンス偏差用のPIDグループ	1																	

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)																
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容													
セレクトパラメータの表示		なし	機能なし	EASY	CS	CS10 ~ CS19	セレクト画面設定メニュー (CSEL) で設定したときのみ表示 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セレクトパラメータ10~19</td> <td>登録したパラメータの設定範囲</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	セレクトパラメータ10~19	登録したパラメータの設定範囲	-							
名称	設定範囲と解説	初期値																		
セレクトパラメータ10~19	登録したパラメータの設定範囲	-																		
パターン番号選択	PROG > PRG	PTN	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パターン番号指定</td> <td>1:プログラムパターン1 2:プログラムパターン2 3:プログラムパターン3 4~30:同様にパターン番号を設定します。</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	パターン番号指定	1:プログラムパターン1 2:プログラムパターン2 3:プログラムパターン3 4~30:同様にパターン番号を設定します。	-			なし	機能なし							
名称		設定範囲と解説	初期値																	
パターン番号指定		1:プログラムパターン1 2:プログラムパターン2 3:プログラムパターン3 4~30:同様にパターン番号を設定します。	-																	
セグメント番号指定	SEG	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セグメント番号指定</td> <td>0:スタート目標設定値、スタートコード等を設定するパラメータを表示します。1~99:セグメント番号を指定します。はじめてプログラムを作成する場合は、「0」を指定してください。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	セグメント番号指定	0:スタート目標設定値、スタートコード等を設定するパラメータを表示します。1~99:セグメント番号を指定します。はじめてプログラムを作成する場合は、「0」を指定してください。	0												
名称	設定範囲と解説	初期値																		
セグメント番号指定	0:スタート目標設定値、スタートコード等を設定するパラメータを表示します。1~99:セグメント番号を指定します。はじめてプログラムを作成する場合は、「0」を指定してください。	0																		
スタート目標設定値	SSP1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタート目標設定値</td> <td>測定入力レンジの0.0~100.0%</td> <td>測定入力レンジの0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	スタート目標設定値	測定入力レンジの0.0~100.0%	測定入力レンジの0.0%	EASY		SSP	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタート目標設定値</td> <td>PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量) (設定範囲:P.RL~P.RH)</td> <td>P.RL</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	スタート目標設定値	PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量) (設定範囲:P.RL~P.RH)	P.RL		
名称	設定範囲と解説	初期値																		
スタート目標設定値	測定入力レンジの0.0~100.0%	測定入力レンジの0.0%																		
名称	設定範囲と解説	初期値																		
スタート目標設定値	PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量) (設定範囲:P.RL~P.RH)	P.RL																		
ウエイト機能ON/OFF	なし	機能なし			STD	PROG > PTNO. > SEGNO.	WT.SW1 ~ WT.SW5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウエイト機能オン/オフ1~5</td> <td>OFF:機能なし ON:機能あり</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ウエイト機能オン/オフ1~5	OFF:機能なし ON:機能あり	OFF						
名称							設定範囲と解説	初期値												
ウエイト機能オン/オフ1~5							OFF:機能なし ON:機能あり	OFF												
上側ウエイトゾーン	WZ.UP1 ~ WZ.UP5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上側ウエイトゾーン1~5</td> <td>PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量)</td> <td>PV入力レンジスパンの0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	上側ウエイトゾーン1~5	PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量)	PV入力レンジスパンの0.5%												
名称	設定範囲と解説	初期値																		
上側ウエイトゾーン1~5	PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量)	PV入力レンジスパンの0.5%																		
下側ウエイトゾーン	WZ.LO1 ~ WZ.LO5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下側ウエイトゾーン1~5</td> <td>PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量)</td> <td>PV入力レンジスパンの0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	下側ウエイトゾーン1~5	PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量)	PV入力レンジスパンの0.5%												
名称	設定範囲と解説	初期値																		
下側ウエイトゾーン1~5	PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量)	PV入力レンジスパンの0.5%																		
ウエイトゾーン	PROG > PRG	1.WZ1 ~ 5.WZ1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1組目のウエイトゾーン~ 5組目のウエイトゾーン</td> <td>OFF:機能なし 測定入力レンジスパンの0.0~10.0%</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	1組目のウエイトゾーン~ 5組目のウエイトゾーン	OFF:機能なし 測定入力レンジスパンの0.0~10.0%	OFF				WZ.UP1 ~ WZ.UP5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上側ウエイトゾーン1~5</td> <td>PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量)</td> <td>PV入力レンジスパンの0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	上側ウエイトゾーン1~5	PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量)	PV入力レンジスパンの0.5%
名称		設定範囲と解説	初期値																	
1組目のウエイトゾーン~ 5組目のウエイトゾーン	OFF:機能なし 測定入力レンジスパンの0.0~10.0%	OFF																		
名称	設定範囲と解説	初期値																		
上側ウエイトゾーン1~5	PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量)	PV入力レンジスパンの0.5%																		
ウエイトタイム	1.WTM ~ 5.WTM	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1組目のウエイトタイム~ 5組目のウエイトタイム</td> <td>OFF:機能なし 0.01~99.59(「時.分」または「分.秒」) 時間単位は、プログラム時間単位(セットアップパラメータ:TMU)で設定します。</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	1組目のウエイトタイム~ 5組目のウエイトタイム	OFF:機能なし 0.01~99.59(「時.分」または「分.秒」) 時間単位は、プログラム時間単位(セットアップパラメータ:TMU)で設定します。	OFF				WT.TM1 ~ WT.TM5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウエイトタイム1~5</td> <td>OFF:機能なし 0.01~999.59(「時.分」または「分.秒」) ※セグメント切替時のウエイトのみで動作します。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ウエイトタイム1~5	OFF:機能なし 0.01~999.59(「時.分」または「分.秒」) ※セグメント切替時のウエイトのみで動作します。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)	OFF	
名称	設定範囲と解説	初期値																		
1組目のウエイトタイム~ 5組目のウエイトタイム	OFF:機能なし 0.01~99.59(「時.分」または「分.秒」) 時間単位は、プログラム時間単位(セットアップパラメータ:TMU)で設定します。	OFF																		
名称	設定範囲と解説	初期値																		
ウエイトタイム1~5	OFF:機能なし 0.01~999.59(「時.分」または「分.秒」) ※セグメント切替時のウエイトのみで動作します。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)	OFF																		

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)							
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容				
リピート回数の設定範囲	PROG > PRG	RCY	名称	設定範囲と解説	初期値	STD	R.CYCL	名称	設定範囲と解説	初期値	
			リピート回数	0~999:RSTとRENで設定したセグメントをリピート回数分繰り返します。 CONT:RSTとRENで設定したセグメントを無限界繰り返します。	0				リピート回数	0~999、CONT(無限回数)	0
リピートスタートセグメント番号			RST	名称	設定範囲と解説			初期値	R.STRT	名称	設定範囲と解説
		リピートスタートセグメント番号		1≤RST≤REN≤99	1			リピートスタートセグメント番号		1~99 1 ≤ R.STRT ≤ R.END ≤ 99	1
リピートエンドセグメント番号		REN	名称	設定範囲と解説	初期値		R.END	名称	設定範囲と解説	初期値	
		リピートエンドセグメント番号	1≤RST≤REN≤99	1			リピートエンドセグメント番号	1~99 1 ≤ R.STRT ≤ R.END ≤ 99	1		
セグメント時間の設定範囲	TIME	名称	設定範囲と解説	初期値	TIME	名称	設定範囲と解説	初期値			
	時間設定セグメントタイム	時間設定値:- (未登録) 0.00~99.59("時.分"または"分.秒") 時間を設定しなければ、プログラムを作成できません。	-		セグメント時間	-:未登録 0.00~999.59("時.分"または"分.秒") ※パラメータSEG.T=TIMEの場合に設定できます。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通) ※0.00のときは、1制御周期でTSPがステップ状に変化します。	-				
セグメント勾配時間の設定範囲	TM.RT	名称	設定範囲と解説	初期値	TM.RT	名称	設定範囲と解説	初期値			
	勾配設定セグメントタイム	ランプ時(勾配設定値):- (未登録)、1時間または1分間あたり測定入力レンジスパンの0.0~100.0% ソーク時(時間設定値):0.00~99.59("時.分"または"分.秒") 時間または勾配を設定しなければ、プログラムを作成できません。	-		セグメント勾配・時間	-:未登録 ランプ時:1時間または1分間あたりPV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量) ソーク時:0.00~999.59("時.分"または"分.秒") ※パラメータSEG.T=TM.RTの場合に設定できます。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通) 1時間あたり:TMU=HH.MM、 1分間あたり:TMU=MM.SS ※入力レンジの0.0%またはセグメントタイム0.00のときは、1制御周期で次ぎのセグメントに移行します。	-				
セグメントPID番号	PID	名称	設定範囲と解説	初期値	S.PID	名称	設定範囲と解説	初期値			
	セグメントPIDのグループ番号	セグメントPIDのときに表示されます。 セットアップパラメータ"ZON=0" 工場出荷時は表示されません。 1~8 注意:PIDのグループ番号(PID)にPID組数(セットアップパラメータGRP)より大きい値を設定した場合、運転時は、1組目のPIDが使用されます。	1		セグメントPID番号選択	1~8 ※パラメータZON=0の場合に設定できません。	1				

項目	GREEN (UP550)				UTAdvanced (UP55A)						
	グループ	パラメータ記号	内容		表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容			
ジャンクションコードの設定範囲	PROG > PRG	JC	名称	設定範囲と解説	初期値	STD	PROG > PTNO. > SEGNO.	JC	名称	設定範囲と解説	初期値
			ジャンクションコード	0: 継続切替 1: ホールド切替 (セグメント終了後, セグメント終了時の設定値をホールドして制御します。) 2: ローカル終了 (セグメント終了後, ローカル設定値に切替わります。) 11~15: セグメント切替時のウェイト (CD-ROMを参照) 21~25: セグメント区間内のウェイト (CD-ROMを参照) INSERT: 指定したセグメントの後にセグメントが追加できます。 DELETE: 指定したセグメントを削除できません。 101~130: パターン1~30にリンク 例えば, 最終セグメントのJCに"102"を設定すると, パターン1終了後, パターン2の運転を開始します。 <パターンリンク時の注意> ・パラメータSTCは有効となります。 ・PVイベント, タイムイベントはリセットとなります。 ・パラメータSSTIは無効となります。	0				ジャンクションコード	CONT: 継続切替 HOLD: ホールド切替 LOCAL: ローカル切替 REM: リモート切替 W.SW1~W.SW5: セグメント切替時ウェイト (5組) W.IV1~W.IV5: セグメント区間内ウェイト (5組) W.SL1~W.SL5: セグメント切替ウェイト解除後ローカル切替 (最終セグメントで有効) (5組) W.SR1~W.SR5: セグメント切替ウェイト解除後リモート切替 (最終セグメントで有効) (5組) PLK1~PLK30 (PLK99): パターン1~30 (99) にリンク INS: 指定したセグメントの後にセグメントを追加 DEL: 指定したセグメントを削除	CONT
イベント番号		EVn	名称	設定範囲と解説	初期値			なし	以下のパラメータで設定します。 PVイベント: PV.TY1~PV.TY8 タイムイベント: TME1~TME16		
			セグメントPIDのグループ番号	0: 未登録 1: タイムイベント1 (端子番号 -) 2: タイムイベント2 (端子番号 -) 3: タイムイベント3 (端子番号 -) 4: タイムイベント4 (端子番号 -) 5~16: タイムイベント5~16 21: PVイベント1 (端子番号 -) 22: PVイベント2 (端子番号 -) 23~28: PVイベント3~8	0						

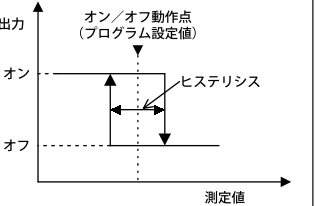
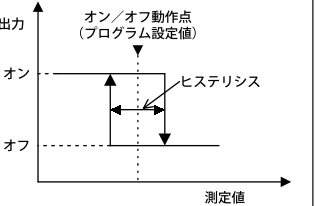
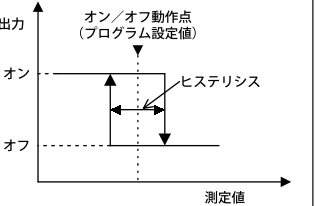
項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)															
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容												
PVイベント1～8 種類の設定範囲	PROG > PRG	Tyn	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PVイベント種類</td> <td> OFF(0)、1～10、28～31 1:測定値上限(励磁、待機動作なし) 2:測定値下限(励磁、待機動作なし) 3:偏差上限(励磁、待機動作なし) 4:偏差下限(励磁、待機動作なし) 5:偏差上限(非励磁、待機動作なし) 6:偏差下限(非励磁、待機動作なし) 7:偏差上下限(励磁、待機動作なし) 8:上下限偏差内(励磁、待機動作なし) 9:測定値上限(非励磁、待機動作なし) 10:測定値下限(非励磁、待機動作なし) その他の警報種類については、次ページを参照 </td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他の警報種類については、取扱説明書:IM05E01C02-41を参照してください。</p>	名称	設定範囲と解説	初期値	PVイベント種類	OFF(0)、1～10、28～31 1:測定値上限(励磁、待機動作なし) 2:測定値下限(励磁、待機動作なし) 3:偏差上限(励磁、待機動作なし) 4:偏差下限(励磁、待機動作なし) 5:偏差上限(非励磁、待機動作なし) 6:偏差下限(非励磁、待機動作なし) 7:偏差上下限(励磁、待機動作なし) 8:上下限偏差内(励磁、待機動作なし) 9:測定値上限(非励磁、待機動作なし) 10:測定値下限(非励磁、待機動作なし) その他の警報種類については、次ページを参照	OFF	STD	PROG > PTNO.> SEGNO.	PV.TY1 ~ PV.TY8	設定可能範囲変更 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PV イベント1～8 種類</td> <td> OFF:未設定(励磁) 1:PV上限、 2:PV下限、 3:SP上限、 4:SP下限、 5:偏差上限、 6:偏差下限、 7:偏差上下限、 8:上下限偏差内、 9:到達SP上限、 10:到達SP下限、 11:到達SP偏差上限、 12:到達SP偏差下限、 13:到達SP偏差上下限、 14:到達SP上下限偏差内、 15:制御出力上限、 16:制御出力下限、 17:冷却側制御出力上限、 18:冷却側制御出力下限 ※非励磁の場合は、100を加算します。例えば、PV 上限、非励磁は101となります。 </td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	PV イベント1～8 種類	OFF:未設定(励磁) 1:PV上限、 2:PV下限、 3:SP上限、 4:SP下限、 5:偏差上限、 6:偏差下限、 7:偏差上下限、 8:上下限偏差内、 9:到達SP上限、 10:到達SP下限、 11:到達SP偏差上限、 12:到達SP偏差下限、 13:到達SP偏差上下限、 14:到達SP上下限偏差内、 15:制御出力上限、 16:制御出力下限、 17:冷却側制御出力上限、 18:冷却側制御出力下限 ※非励磁の場合は、100を加算します。例えば、PV 上限、非励磁は101となります。	OFF
			名称	設定範囲と解説	初期値														
PVイベント種類	OFF(0)、1～10、28～31 1:測定値上限(励磁、待機動作なし) 2:測定値下限(励磁、待機動作なし) 3:偏差上限(励磁、待機動作なし) 4:偏差下限(励磁、待機動作なし) 5:偏差上限(非励磁、待機動作なし) 6:偏差下限(非励磁、待機動作なし) 7:偏差上下限(励磁、待機動作なし) 8:上下限偏差内(励磁、待機動作なし) 9:測定値上限(非励磁、待機動作なし) 10:測定値下限(非励磁、待機動作なし) その他の警報種類については、次ページを参照	OFF																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
PV イベント1～8 種類	OFF:未設定(励磁) 1:PV上限、 2:PV下限、 3:SP上限、 4:SP下限、 5:偏差上限、 6:偏差下限、 7:偏差上下限、 8:上下限偏差内、 9:到達SP上限、 10:到達SP下限、 11:到達SP偏差上限、 12:到達SP偏差下限、 13:到達SP偏差上下限、 14:到達SP上下限偏差内、 15:制御出力上限、 16:制御出力下限、 17:冷却側制御出力上限、 18:冷却側制御出力下限 ※非励磁の場合は、100を加算します。例えば、PV 上限、非励磁は101となります。	OFF																	
PVイベント1～8 設定値の設定範囲	Pen	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PVイベント設定値</td> <td> 測定値警報/設定値警報:測定入力レンジの-100.0～100.0% 偏差警報:測定入力レンジスパンの-100.0～100.0% 出力値警報:-5.0～105.0% </td> <td> 測定値上限 / 設定値上限警報:測定入力レンジの100.0% 偏差警報:測定入力レンジスパンの0.0% その他測定値/設定値下限警報: 測定入力レンジの0.0%出力値上限警報: 100.0%出力値下限警報:0.0% </td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	PVイベント設定値	測定値警報/設定値警報:測定入力レンジの-100.0～100.0% 偏差警報:測定入力レンジスパンの-100.0～100.0% 出力値警報:-5.0～105.0%	測定値上限 / 設定値上限警報:測定入力レンジの100.0% 偏差警報:測定入力レンジスパンの0.0% その他測定値/設定値下限警報: 測定入力レンジの0.0%出力値上限警報: 100.0%出力値下限警報:0.0%	PV.EV1 ~ PV.EV8	設定可能範囲変更 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PVイベント1～8 設定値</td> <td> PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999～30000(入力レンジ範囲内で設定してください)小数点位置は、入力種類によります。 </td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	PVイベント1～8 設定値	PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999～30000(入力レンジ範囲内で設定してください)小数点位置は、入力種類によります。	0			
名称	設定範囲と解説	初期値																	
PVイベント設定値	測定値警報/設定値警報:測定入力レンジの-100.0～100.0% 偏差警報:測定入力レンジスパンの-100.0～100.0% 出力値警報:-5.0～105.0%	測定値上限 / 設定値上限警報:測定入力レンジの100.0% 偏差警報:測定入力レンジスパンの0.0% その他測定値/設定値下限警報: 測定入力レンジの0.0%出力値上限警報: 100.0%出力値下限警報:0.0%																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
PVイベント1～8 設定値	PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999～30000(入力レンジ範囲内で設定してください)小数点位置は、入力種類によります。	0																	
タイムイベント開始条件		なし	機能なし			TME1 ~ TME16	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PVイベント1～8 設定値</td> <td> ON:ON スタート OFF:OFF スタート </td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	PVイベント1～8 設定値	ON:ON スタート OFF:OFF スタート	OFF						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
PVイベント1～8 設定値	ON:ON スタート OFF:OFF スタート	OFF																	

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)															
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容												
タイムイベントON時間の設定範囲	PROG > PRG	ONn	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイムイベントオン時間</td> <td>OFF (0) : 未使用 0.00~99.59("時.分"または"分.秒")</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	タイムイベントオン時間	OFF (0) : 未使用 0.00~99.59("時.分"または"分.秒")	OFF	STD	PROG > PTNO.> SEGNO.	TON1 ~ TON16	設定可能範囲変更 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイムイベント1~16 オン時間</td> <td>-: 未設定 0.01~999.59("時.分"または"分.秒") ※セグメント時間内のみ有効です。 ※運転モードがプログラム運転以外に変更されるとOFFになります。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	タイムイベント1~16 オン時間	-: 未設定 0.01~999.59("時.分"または"分.秒") ※セグメント時間内のみ有効です。 ※運転モードがプログラム運転以外に変更されるとOFFになります。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)	-
名称			設定範囲と解説	初期値															
タイムイベントオン時間	OFF (0) : 未使用 0.00~99.59("時.分"または"分.秒")	OFF																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
タイムイベント1~16 オン時間	-: 未設定 0.01~999.59("時.分"または"分.秒") ※セグメント時間内のみ有効です。 ※運転モードがプログラム運転以外に変更されるとOFFになります。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)	-																	
タイムイベントOFF時間の設定範囲	OFFn	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイムイベントオフ時間</td> <td>OFF (0) : 未使用 0.00~99.59("時.分"または"分.秒")</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	タイムイベントオフ時間	OFF (0) : 未使用 0.00~99.59("時.分"または"分.秒")	OFF	TOF1 ~ TOF16	設定可能範囲変更 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイムイベント1~16 オフ時間</td> <td>-: 未設定 0.01~999.59("時.分"または"分.秒") ※セグメント時間内のみ有効です。 ※運転モードがプログラム運転以外に変更されるとOFFになります。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	タイムイベント1~16 オフ時間	-: 未設定 0.01~999.59("時.分"または"分.秒") ※セグメント時間内のみ有効です。 ※運転モードがプログラム運転以外に変更されるとOFFになります。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)	-			
名称	設定範囲と解説	初期値																	
タイムイベントオフ時間	OFF (0) : 未使用 0.00~99.59("時.分"または"分.秒")	OFF																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
タイムイベント1~16 オフ時間	-: 未設定 0.01~999.59("時.分"または"分.秒") ※セグメント時間内のみ有効です。 ※運転モードがプログラム運転以外に変更されるとOFFになります。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)	-																	
ローカル運転時の目標設定値	PROG > LOC	LSP1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカル運転時の設定値</td> <td>測定入力レンジの0.0~100.0 %</td> <td>測定入力レンジの0.0 %</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ローカル運転時の設定値	測定入力レンジの0.0~100.0 %	測定入力レンジの0.0 %	EASY	LOC	LSP	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカル目標設定値</td> <td>PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量) (設定範囲:P.RL~P.RH)</td> <td>P.RL</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ローカル目標設定値	PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量) (設定範囲:P.RL~P.RH)	P.RL
名称			設定範囲と解説	初期値															
ローカル運転時の設定値	測定入力レンジの0.0~100.0 %	測定入力レンジの0.0 %																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
ローカル目標設定値	PV入力レンジの0.0~100.0% (工業量) (設定範囲:P.RL~P.RH)	P.RL																	
ローカル運転時のPIDグループ番号	PID	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカル運転時のPIDグループ番号</td> <td>セグメントPIDのときに表示されます。 セットアップパラメータ"ZON=0"で表示。 工場出荷時は、表示されません。 1: 1組目のPIDパラメータを使用 2: 2組目のPIDパラメータを使用 3: 3組目のPIDパラメータを使用 4: 4組目のPIDパラメータを使用 5~8: 同様に5組目から8組目のPIDパラメータを使用 注意: セグメントPIDのとき、PIDグループ番号(PID)にPID組数(セットアップパラメータGRP)より大きい値を設定した場合、運転時は、1組目のPIDが使用されます。</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ローカル運転時のPIDグループ番号	セグメントPIDのときに表示されます。 セットアップパラメータ"ZON=0"で表示。 工場出荷時は、表示されません。 1: 1組目のPIDパラメータを使用 2: 2組目のPIDパラメータを使用 3: 3組目のPIDパラメータを使用 4: 4組目のPIDパラメータを使用 5~8: 同様に5組目から8組目のPIDパラメータを使用 注意: セグメントPIDのとき、PIDグループ番号(PID)にPID組数(セットアップパラメータGRP)より大きい値を設定した場合、運転時は、1組目のPIDが使用されます。	1	L.PID	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカルPID番号選択</td> <td>使用するPIDグループ番号を設定します。 1~8 ※パラメータZON=0または5の場合に設定できません。 ※パラメータZON = 5 のとき、運転モードに関係なくローカルPID を選択します。</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ローカルPID番号選択	使用するPIDグループ番号を設定します。 1~8 ※パラメータZON=0または5の場合に設定できません。 ※パラメータZON = 5 のとき、運転モードに関係なくローカルPID を選択します。	1			
名称	設定範囲と解説	初期値																	
ローカル運転時のPIDグループ番号	セグメントPIDのときに表示されます。 セットアップパラメータ"ZON=0"で表示。 工場出荷時は、表示されません。 1: 1組目のPIDパラメータを使用 2: 2組目のPIDパラメータを使用 3: 3組目のPIDパラメータを使用 4: 4組目のPIDパラメータを使用 5~8: 同様に5組目から8組目のPIDパラメータを使用 注意: セグメントPIDのとき、PIDグループ番号(PID)にPID組数(セットアップパラメータGRP)より大きい値を設定した場合、運転時は、1組目のPIDが使用されます。	1																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
ローカルPID番号選択	使用するPIDグループ番号を設定します。 1~8 ※パラメータZON=0または5の場合に設定できません。 ※パラメータZON = 5 のとき、運転モードに関係なくローカルPID を選択します。	1																	

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)															
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容												
ローカルイベント種類の設定範囲	PROG> LOC	E21A ~ E28A	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカルイベント21種類</td> <td>OFF、1~10、28~31 1:測定値上限(励磁、待機動作なし) 2:測定値下限(励磁、待機動作なし) 3:偏差上限(励磁、待機動作なし) 4:偏差下限(励磁、待機動作なし) 5:偏差上限(非励磁、待機動作なし) 6:偏差下限(非励磁、待機動作なし) 7:偏差上下限(励磁、待機動作なし) 8:上下限偏差内(励磁、待機動作なし) 9:測定値上限(非励磁、待機動作なし) 10:測定値下限(非励磁、待機動作なし)</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ローカルイベント21種類	OFF、1~10、28~31 1:測定値上限(励磁、待機動作なし) 2:測定値下限(励磁、待機動作なし) 3:偏差上限(励磁、待機動作なし) 4:偏差下限(励磁、待機動作なし) 5:偏差上限(非励磁、待機動作なし) 6:偏差下限(非励磁、待機動作なし) 7:偏差上下限(励磁、待機動作なし) 8:上下限偏差内(励磁、待機動作なし) 9:測定値上限(非励磁、待機動作なし) 10:測定値下限(非励磁、待機動作なし)	OFF	STD	LOC	L.TY1 ~ L.TY8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカルイベント1~8種類</td> <td>OFF:未設定(励磁) 1:PV 上限、 2:PV 下限、 3:SP 上限、 4:SP 下限、 5:偏差上限、 6:偏差下限、 7:偏差上下限、 8:上下限偏差内、 9:到達SP 上限、 10:到達SP 下限、 11:到達SP 偏差上限、 12:到達SP 偏差下限、 13:到達SP 偏差上下限、 14:到達SP 上下限偏差内、 15:制御出力上限、 16:制御出力下限、 17:冷却側制御出力上限、 18:冷却側制御出力下限 ※非励磁の場合は、100 を加算します。例えば、PV 上限、非励磁は101 となります。</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ローカルイベント1~8種類	OFF:未設定(励磁) 1:PV 上限、 2:PV 下限、 3:SP 上限、 4:SP 下限、 5:偏差上限、 6:偏差下限、 7:偏差上下限、 8:上下限偏差内、 9:到達SP 上限、 10:到達SP 下限、 11:到達SP 偏差上限、 12:到達SP 偏差下限、 13:到達SP 偏差上下限、 14:到達SP 上下限偏差内、 15:制御出力上限、 16:制御出力下限、 17:冷却側制御出力上限、 18:冷却側制御出力下限 ※非励磁の場合は、100 を加算します。例えば、PV 上限、非励磁は101 となります。	OFF
名称			設定範囲と解説	初期値															
ローカルイベント21種類	OFF、1~10、28~31 1:測定値上限(励磁、待機動作なし) 2:測定値下限(励磁、待機動作なし) 3:偏差上限(励磁、待機動作なし) 4:偏差下限(励磁、待機動作なし) 5:偏差上限(非励磁、待機動作なし) 6:偏差下限(非励磁、待機動作なし) 7:偏差上下限(励磁、待機動作なし) 8:上下限偏差内(励磁、待機動作なし) 9:測定値上限(非励磁、待機動作なし) 10:測定値下限(非励磁、待機動作なし)	OFF																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
ローカルイベント1~8種類	OFF:未設定(励磁) 1:PV 上限、 2:PV 下限、 3:SP 上限、 4:SP 下限、 5:偏差上限、 6:偏差下限、 7:偏差上下限、 8:上下限偏差内、 9:到達SP 上限、 10:到達SP 下限、 11:到達SP 偏差上限、 12:到達SP 偏差下限、 13:到達SP 偏差上下限、 14:到達SP 上下限偏差内、 15:制御出力上限、 16:制御出力下限、 17:冷却側制御出力上限、 18:冷却側制御出力下限 ※非励磁の場合は、100 を加算します。例えば、PV 上限、非励磁は101 となります。	OFF																	
ローカルイベント設定値の範囲	E21B ~ E28B	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカルイベント21設定値</td> <td>測定値上限/設定値警報:測定入力レンジの-100.0~100.0% 偏差警報:測定入力レンジの0.0% その他測定値/設定値下限警報:測定入力レンジの0.0% 出力値警報:-5.0~105.0%</td> <td>測定値上限/設定値上限警報:測定入力レンジの100.0% 偏差警報:測定入力レンジの0.0% その他測定値/設定値下限警報:測定入力レンジの0.0% 出力値上限警報:100.0% 出力値下限警報:0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ローカルイベント21設定値	測定値上限/設定値警報:測定入力レンジの-100.0~100.0% 偏差警報:測定入力レンジの0.0% その他測定値/設定値下限警報:測定入力レンジの0.0% 出力値警報:-5.0~105.0%	測定値上限/設定値上限警報:測定入力レンジの100.0% 偏差警報:測定入力レンジの0.0% その他測定値/設定値下限警報:測定入力レンジの0.0% 出力値上限警報:100.0% 出力値下限警報:0.0%	L.EV1 ~ L.EV8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカルイベント1~8設定値</td> <td>PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999 ~ 30000(入力レンジ範囲内で設定してください)小数点位置は、入力種類によります。 ※L.TY1~L.TY8が設定されている場合に設定できます。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ローカルイベント1~8設定値	PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999 ~ 30000(入力レンジ範囲内で設定してください)小数点位置は、入力種類によります。 ※L.TY1~L.TY8が設定されている場合に設定できます。	0			
名称	設定範囲と解説	初期値																	
ローカルイベント21設定値	測定値上限/設定値警報:測定入力レンジの-100.0~100.0% 偏差警報:測定入力レンジの0.0% その他測定値/設定値下限警報:測定入力レンジの0.0% 出力値警報:-5.0~105.0%	測定値上限/設定値上限警報:測定入力レンジの100.0% 偏差警報:測定入力レンジの0.0% その他測定値/設定値下限警報:測定入力レンジの0.0% 出力値上限警報:100.0% 出力値下限警報:0.0%																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
ローカルイベント1~8設定値	PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999 ~ 30000(入力レンジ範囲内で設定してください)小数点位置は、入力種類によります。 ※L.TY1~L.TY8が設定されている場合に設定できます。	0																	
パターン内セグメント数	PROG> EDIT	PTN.S	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パターン内のセグメント数</td> <td>読み出し専用</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	パターン内のセグメント数	読み出し専用	-	PRO	EDIT	USE.S	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パターン内のセグメント数</td> <td>パラメータPTN.S でプログラムパターン番号を指定した場合には表示されます。(表示のみ) 0:未登録 1~99</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	パターン内のセグメント数	パラメータPTN.S でプログラムパターン番号を指定した場合には表示されます。(表示のみ) 0:未登録 1~99	-
名称	設定範囲と解説	初期値																	
パターン内のセグメント数	読み出し専用	-																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
パターン内のセグメント数	パラメータPTN.S でプログラムパターン番号を指定した場合には表示されます。(表示のみ) 0:未登録 1~99	-																	
セグメント数確認パターン番号指定"	なし	機能なし	機能なし	PTN.S	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セグメント数確認パターン番号指定</td> <td>パラメータUSE.S に表示させるプログラムパターン番号を指定します。 1 ~ 30 または99(付加仕様/AP 付きの場合)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	セグメント数確認パターン番号指定	パラメータUSE.S に表示させるプログラムパターン番号を指定します。 1 ~ 30 または99(付加仕様/AP 付きの場合)	0								
名称	設定範囲と解説	初期値																	
セグメント数確認パターン番号指定	パラメータUSE.S に表示させるプログラムパターン番号を指定します。 1 ~ 30 または99(付加仕様/AP 付きの場合)	0																	
未使用の残リイベント数	PROG> EDIT	ALL.E	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パターン内のセグメント数</td> <td>読み出し専用</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	パターン内のセグメント数	読み出し専用	-	なし	機能なし								
名称	設定範囲と解説	初期値																	
パターン内のセグメント数	読み出し専用	-																	

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)															
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容												
プログラムパターンのコピー	PROG>EDIT	COPY	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プログラムパターンのコピー</td> <td>コピー元のプログラムパターン番号およびコピー先のプログラムパターン番号を指定します。(1~30)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	プログラムパターンのコピー	コピー元のプログラムパターン番号およびコピー先のプログラムパターン番号を指定します。(1~30)	-	PRO	EDIT	CPY.S CPY.D	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コピー元パターン番号指定</td> <td>コピー元のプログラムパターン番号を指定します。 1~30または99(付加仕様/AP付きの場合)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	コピー元パターン番号指定	コピー元のプログラムパターン番号を指定します。 1~30または99(付加仕様/AP付きの場合)	0
			名称	設定範囲と解説	初期値														
プログラムパターンのコピー	コピー元のプログラムパターン番号およびコピー先のプログラムパターン番号を指定します。(1~30)	-																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
コピー元パターン番号指定	コピー元のプログラムパターン番号を指定します。 1~30または99(付加仕様/AP付きの場合)	0																	
プログラムパターンの消去	CLEAR	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プログラムパターンの消去</td> <td>消去するプログラムパターンの番号を指定します。(1~30)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	プログラムパターンの消去	消去するプログラムパターンの番号を指定します。(1~30)	-	PRO	EDIT	CLR.P	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プログラムパターン消去</td> <td>消去するプログラムパターン番号を指定します。 1~30または99(付加仕様/AP付きの場合)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	プログラムパターン消去	消去するプログラムパターン番号を指定します。 1~30または99(付加仕様/AP付きの場合)	0	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
プログラムパターンの消去	消去するプログラムパターンの番号を指定します。(1~30)	-																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
プログラムパターン消去	消去するプログラムパターン番号を指定します。 1~30または99(付加仕様/AP付きの場合)	0																	
プログラムパターン全消去	なし	機能なし	なし	セットアップパラメータ > INIT	P.DEF	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プログラムパターンデータ全消去</td> <td>13579を設定すると消去実行。実行後0に戻ります。 ※メニュー「PROG」内データ全消去</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	プログラムパターンデータ全消去	13579を設定すると消去実行。実行後0に戻ります。 ※メニュー「PROG」内データ全消去	0							
名称	設定範囲と解説	初期値																	
プログラムパターンデータ全消去	13579を設定すると消去実行。実行後0に戻ります。 ※メニュー「PROG」内データ全消去	0																	
警報設定値の設定範囲	AL	A1 ~ A4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計器警報1~4設定値</td> <td>プログラムに関係なく警報動作を設定できます。 測定値警報/設定値警報:測定入力レンジの-100.0~100.0 % 偏差警報:測定入力レンジスパンの-100.0~100.0 % 出力値警報:-5.0~105.0%</td> <td>測定値上限/設定値上限警報:測定入力レンジの100.0% 偏差警報:測定入力レンジスパンの0.0% その他測定値/設定値下限警報:測定入力レンジの0.0% 出力値上限警報:100.0 % 出力値下限警報:0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	計器警報1~4設定値	プログラムに関係なく警報動作を設定できます。 測定値警報/設定値警報:測定入力レンジの-100.0~100.0 % 偏差警報:測定入力レンジスパンの-100.0~100.0 % 出力値警報:-5.0~105.0%	測定値上限/設定値上限警報:測定入力レンジの100.0% 偏差警報:測定入力レンジスパンの0.0% その他測定値/設定値下限警報:測定入力レンジの0.0% 出力値上限警報:100.0 % 出力値下限警報:0.0%	EASY	AL	A1 ~ A4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警報1~8設定値</td> <td>運転モードに関係なく動作する警報です。PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999 ~ 30000(入力レンジ範囲内で設定してください) 小数点位置は、入力種類によります。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	警報1~8設定値	運転モードに関係なく動作する警報です。PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999 ~ 30000(入力レンジ範囲内で設定してください) 小数点位置は、入力種類によります。	0
			名称	設定範囲と解説	初期値														
計器警報1~4設定値	プログラムに関係なく警報動作を設定できます。 測定値警報/設定値警報:測定入力レンジの-100.0~100.0 % 偏差警報:測定入力レンジスパンの-100.0~100.0 % 出力値警報:-5.0~105.0%	測定値上限/設定値上限警報:測定入力レンジの100.0% 偏差警報:測定入力レンジスパンの0.0% その他測定値/設定値下限警報:測定入力レンジの0.0% 出力値上限警報:100.0 % 出力値下限警報:0.0%																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
警報1~8設定値	運転モードに関係なく動作する警報です。PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999 ~ 30000(入力レンジ範囲内で設定してください) 小数点位置は、入力種類によります。	0																	
警報設定値とヒステリシスの初期値	なし	機能なし	なし	A5 ~ A8	なし	なし													
偏差警報の設定	AL	A1 ~ A4	警報設定値は警報種類により変化、ヒステリシスはレンジの0.5%	なし	機能なし	なし													
リモート入力種類	なし	機能なし	符号必要なし	なし	機能なし	なし													
リモート入力フィルタ	なし	機能なし	なし	なし	機能なし	なし													
リモート入力比率	なし	機能なし	なし	なし	機能なし	なし													
リモート入力種類	STD	SPS	RMS	STD	SPS	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リモート入力方法</td> <td>RSP: リモート(補助アナログ)入力 COM: 通信</td> <td>RSP</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	リモート入力方法	RSP: リモート(補助アナログ)入力 COM: 通信	RSP							
名称	設定範囲と解説	初期値																	
リモート入力方法	RSP: リモート(補助アナログ)入力 COM: 通信	RSP																	
リモート入力フィルタ	STD	SPS	RFL	STD	SPS	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リモート入力フィルタ</td> <td>OFF, 1~120 秒</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	リモート入力フィルタ	OFF, 1~120 秒	OFF							
名称	設定範囲と解説	初期値																	
リモート入力フィルタ	OFF, 1~120 秒	OFF																	
リモート入力比率	STD	SPS	RT	STD	SPS	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リモート比率</td> <td>0.001~9.999 ※SP=リモート入力値×RT+リモート入力バイアス</td> <td>1.000</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	リモート比率	0.001~9.999 ※SP=リモート入力値×RT+リモート入力バイアス	1.000							
名称	設定範囲と解説	初期値																	
リモート比率	0.001~9.999 ※SP=リモート入力値×RT+リモート入力バイアス	1.000																	

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)																
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容													
リモート入力バイアス		なし	機能なし	STD	SPS	RBS	名称	設定範囲と解説	初期値											
							リモート入力バイアス	PV入力レンジスパンの-100.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジスパンの0.0%											
プログラムの運転開始時間の設定範囲	LP1 > PAR	S.TM	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プログラムパターン の運転開始時間</td> <td>0.00~99.59("時.分"または"分.秒") 電源オン後、設定した時間後に制御を開始 します。</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>		名称	設定範囲と解説	初期値	プログラムパターン の運転開始時間	0.00~99.59("時.分"または"分.秒") 電源オン後、設定した時間後に制御を開始 します。	0.00		S.TM	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プログラムの運転 開始時間</td> <td>0.00 ~ 999.59("時.分"または"分.秒")(計 器で共通) ※ 時間単位は、パラメータTMU で設定しま す。(計器で共通)</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	プログラムの運転 開始時間	0.00 ~ 999.59("時.分"または"分.秒")(計 器で共通) ※ 時間単位は、パラメータTMU で設定しま す。(計器で共通)	0.00	
名称	設定範囲と解説	初期値																		
プログラムパターン の運転開始時間	0.00~99.59("時.分"または"分.秒") 電源オン後、設定した時間後に制御を開始 します。	0.00																		
名称	設定範囲と解説	初期値																		
プログラムの運転 開始時間	0.00 ~ 999.59("時.分"または"分.秒")(計 器で共通) ※ 時間単位は、パラメータTMU で設定しま す。(計器で共通)	0.00																		
PV変化率警報時間設定値		なし	機能なし		ALRM	VT1 ~ VT8	DYN1 ~ DYN8	名称	設定範囲と解説	初期値										
警報オンディレイタイム								PV 変化率警報時間 設定値1~8	00.01~99.59(分.秒)	1.00										
警報オフディレイタイム								警報1~8オンディ レイタイム	0.00~99.59(分.秒)	0.00										
				PRO	DYF1 ~ DYF8	DYN1 ~ DYN8	名称	設定範囲と解説	初期値											
							警報1~8オフディ レイタイム	0.00~99.59(分.秒)	0.00											
センサ接地警報のオン/オフ率検出幅	LP1 > PAR	ORB	名称	設定範囲と解説	初期値	なし	機能なし													
			オン/オフ率検出幅	測定入力レンジスパンの0.0~100.0%	測定入力レンジスパンの1.0%															
センサ接地警報のオン/オフ率上限			名称	設定範囲と解説	初期値															
	オン/オフ率上限	ORL + 1digit~105.0 %	100.0%																	
センサ接地警報のオン/オフ率下限	名称	設定範囲と解説	初期値																	
	オン/オフ率下限	-5.0%~ORH - 1 digit 0.0 %	0.0 %																	
P(比例帯)の設定範囲	LP1 > 1.PID	1.P	名称	設定範囲と解説	初期値					EASY	PID	P	名称	設定範囲と解説	初期値					
			比例帯 加熱側比例帯(加熱 冷却制御時)	測定入力レンジの0.1~999.9% 加熱冷却制御時:0.0~999.9%(0.0で加熱側 オン/オフ制御となる)	0.5%								比例帯 加熱側比例帯(加熱 冷却制御時)	0.0~999.9% 0.0%と設定すると、0.1%として動作します。 加熱冷却制御時、0.0%にすると加熱側オン/ オフ制御	5.0%					
出力リミット上限値の設定範囲			名称	設定範囲と解説	初期値								制御出力リミット 上限値 加熱側制御出力リ ミット上限値(加熱 冷却制御時)	-4.9~105.0%、(OL < OH) 加熱冷却制御時:0.1~105.0%(OL < OH)	100.0%					
出力リミット下限値の設定範囲	名称	設定範囲と解説	初期値	制御出力リミット 下限値 加熱側制御出力リ ミット下限値(加熱 冷却制御時)	-5.0~104.9%、(OL < OH)、SD:タイト シャット 加熱冷却制御時、0.0~104.9%(OL < OH)					0.0%										

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)															
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容												
オン/オフ制御のヒステリシス	LP1 > 1.PID	1.H	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オン/オフ制御のヒステリシス 加熱側オン/オフ制御のヒステリシス (加熱冷却制御時)</td> <td> <p>オン/オフ制御を行っているとき、プログラム設定値にヒステリシスを設定できます。</p>  </td> <td>オン/オフ制御: 測定入力レンジスパンの0.5% 位置比例PID制御と加熱冷却制御:0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	オン/オフ制御のヒステリシス 加熱側オン/オフ制御のヒステリシス (加熱冷却制御時)	<p>オン/オフ制御を行っているとき、プログラム設定値にヒステリシスを設定できます。</p> 	オン/オフ制御: 測定入力レンジスパンの0.5% 位置比例PID制御と加熱冷却制御:0.5%	EASY	PID	HYS	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヒステリシス 加熱側オン/オフ制御のヒステリシス</td> <td>オン/オフ制御: PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量) 加熱冷却制御または位置比例制御時: 0.0~100.0%</td> <td>オン/オフ制御: PV入力レンジスパンの0.5% 加熱冷却制御/ 位置比例制御: 0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	ヒステリシス 加熱側オン/オフ制御のヒステリシス	オン/オフ制御: PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量) 加熱冷却制御または位置比例制御時: 0.0~100.0%	オン/オフ制御: PV入力レンジスパンの0.5% 加熱冷却制御/ 位置比例制御: 0.5%
名称	設定範囲と解説	初期値																	
オン/オフ制御のヒステリシス 加熱側オン/オフ制御のヒステリシス (加熱冷却制御時)	<p>オン/オフ制御を行っているとき、プログラム設定値にヒステリシスを設定できます。</p> 	オン/オフ制御: 測定入力レンジスパンの0.5% 位置比例PID制御と加熱冷却制御:0.5%																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
ヒステリシス 加熱側オン/オフ制御のヒステリシス	オン/オフ制御: PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量) 加熱冷却制御または位置比例制御時: 0.0~100.0%	オン/オフ制御: PV入力レンジスパンの0.5% 加熱冷却制御/ 位置比例制御: 0.5%																	
ON/OFF 制御ヒステリシス 2点 (上側)	なし	機能なし		EASY	PID	HY.UP	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上側ヒステリシス (オン/オフ制御時)</td> <td>PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量)</td> <td>PV入力レンジスパンの0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	上側ヒステリシス (オン/オフ制御時)	PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジスパンの0.5%						
名称						設定範囲と解説	初期値												
上側ヒステリシス (オン/オフ制御時)						PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジスパンの0.5%												
ON/OFF 制御ヒステリシス 2点 (下側)						HY.LO	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下側ヒステリシス (オン/オフ制御時)</td> <td>PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量)</td> <td>PV入力レンジスパンの0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	下側ヒステリシス (オン/オフ制御時)	PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジスパンの0.5%						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
下側ヒステリシス (オン/オフ制御時)	PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジスパンの0.5%																	
冷却側出力リミット上限値	OHc	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却側制御出力リミット上限値</td> <td>0.1~105.0%、(OLc < OHc)</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	冷却側制御出力リミット上限値	0.1~105.0%、(OLc < OHc)	100.0%											
名称	設定範囲と解説	初期値																	
冷却側制御出力リミット上限値	0.1~105.0%、(OLc < OHc)	100.0%																	
冷却側出力リミット下限値	OLc	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却側制御出力リミット下限値</td> <td>0.0~104.9%、(OLc < OHc)</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	冷却側制御出力リミット下限値	0.0~104.9%、(OLc < OHc)	0.0%											
名称	設定範囲と解説	初期値																	
冷却側制御出力リミット下限値	0.0~104.9%、(OLc < OHc)	0.0%																	
冷却側オン/オフ制御のヒステリシス	LP1 > 1.PID	1.Hc	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却側オン/オフ制御のヒステリシス</td> <td>0.0~100.0%</td> <td>0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	冷却側オン/オフ制御のヒステリシス	0.0~100.0%	0.5%	EASY	PID	HYSc	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却側オン/オフ制御のヒステリシス</td> <td>0.0~100.0%</td> <td>0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	冷却側オン/オフ制御のヒステリシス	0.0~100.0%	0.5%
名称	設定範囲と解説	初期値																	
冷却側オン/オフ制御のヒステリシス	0.0~100.0%	0.5%																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
冷却側オン/オフ制御のヒステリシス	0.0~100.0%	0.5%																	
冷却側プリセット出力値の設定範囲	LP1 > 1.PID	1.Oc	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却側プリセット出力値</td> <td>運転停止時、冷却側固定制御出力値を出力できます。 0.0~105.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	冷却側プリセット出力値	運転停止時、冷却側固定制御出力値を出力できます。 0.0~105.0%	0.0%	EASY	PID	POc	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却側プリセット出力</td> <td>-5.0~105.0% ※ 運転停止時、冷却側の固定出力値を出力できます。</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	冷却側プリセット出力	-5.0~105.0% ※ 運転停止時、冷却側の固定出力値を出力できます。	0.0%
名称	設定範囲と解説	初期値																	
冷却側プリセット出力値	運転停止時、冷却側固定制御出力値を出力できます。 0.0~105.0%	0.0%																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
冷却側プリセット出力	-5.0~105.0% ※ 運転停止時、冷却側の固定出力値を出力できます。	0.0%																	

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)															
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容												
SC(スーパー機能)の設定	LP2 > PAR	SC	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スーパー機能</td> <td> OFF:機能なし 1:「オーバーシュート」抑制機能 外乱などによるオーバーシュートを抑制します。 2:「ハンチング」抑制機能(安定性重視モード) 安定性が優れています。応答性重視モードに比べて、広い特性変化に対応します。 3:「ハンチング」抑制機能(応答性重視モード) 変更した目標設定値に対する測定値の追従/収束時間が早いモードです。 注意:「SC=2と3」は、必ずPID制御、PI制御で使用してください。 以下の場合には機能しません。 1) オンオフ制御 2) P制御(比例帯のみの制御) 3) PD制御(比例帯と微分項のみの制御) 4) 加熱冷却制御 応答の早い制御(流量、圧力)では使用しないでください。 </td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	スーパー機能	OFF:機能なし 1:「オーバーシュート」抑制機能 外乱などによるオーバーシュートを抑制します。 2:「ハンチング」抑制機能(安定性重視モード) 安定性が優れています。応答性重視モードに比べて、広い特性変化に対応します。 3:「ハンチング」抑制機能(応答性重視モード) 変更した目標設定値に対する測定値の追従/収束時間が早いモードです。 注意:「SC=2と3」は、必ずPID制御、PI制御で使用してください。 以下の場合には機能しません。 1) オンオフ制御 2) P制御(比例帯のみの制御) 3) PD制御(比例帯と微分項のみの制御) 4) 加熱冷却制御 応答の早い制御(流量、圧力)では使用しないでください。	OFF	EASY		SC	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スーパー機能</td> <td> OFF:機能なし 1:オーバーシュート抑制機能(通常モード) 2:ハンチング抑制機能(安定性重視モード) 3:ハンチング抑制機能(応答性重視モード) 4:オーバーシュート抑制機能(強抑制モード) 注意:設定値2と3は、必ずPID制御、PI制御で使用してください。 以下の場合には、機能しません。 (1) オン/オフ制御 (2) PD制御 (3) P制御 (4) 加熱冷却制御 応答の早い制御(流量、圧力)では使用しないでください。 </td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	スーパー機能	OFF:機能なし 1:オーバーシュート抑制機能(通常モード) 2:ハンチング抑制機能(安定性重視モード) 3:ハンチング抑制機能(応答性重視モード) 4:オーバーシュート抑制機能(強抑制モード) 注意:設定値2と3は、必ずPID制御、PI制御で使用してください。 以下の場合には、機能しません。 (1) オン/オフ制御 (2) PD制御 (3) P制御 (4) 加熱冷却制御 応答の早い制御(流量、圧力)では使用しないでください。	OFF
名称	設定範囲と解説	初期値																	
スーパー機能	OFF:機能なし 1:「オーバーシュート」抑制機能 外乱などによるオーバーシュートを抑制します。 2:「ハンチング」抑制機能(安定性重視モード) 安定性が優れています。応答性重視モードに比べて、広い特性変化に対応します。 3:「ハンチング」抑制機能(応答性重視モード) 変更した目標設定値に対する測定値の追従/収束時間が早いモードです。 注意:「SC=2と3」は、必ずPID制御、PI制御で使用してください。 以下の場合には機能しません。 1) オンオフ制御 2) P制御(比例帯のみの制御) 3) PD制御(比例帯と微分項のみの制御) 4) 加熱冷却制御 応答の早い制御(流量、圧力)では使用しないでください。	OFF																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
スーパー機能	OFF:機能なし 1:オーバーシュート抑制機能(通常モード) 2:ハンチング抑制機能(安定性重視モード) 3:ハンチング抑制機能(応答性重視モード) 4:オーバーシュート抑制機能(強抑制モード) 注意:設定値2と3は、必ずPID制御、PI制御で使用してください。 以下の場合には、機能しません。 (1) オン/オフ制御 (2) PD制御 (3) P制御 (4) 加熱冷却制御 応答の早い制御(流量、圧力)では使用しないでください。	OFF																	
AT(通常/安定の選択)			機能なし	STD	TUNE	AT.TY	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オートチューニングタイプ</td> <td>0:通常 1:安定</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	オートチューニングタイプ	0:通常 1:安定	0						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
オートチューニングタイプ	0:通常 1:安定	0																	
AT実行時の出力リミット上限値				PRO		AT.OH	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オートチューニング時出力リミット上限値</td> <td>-5.0~105.0%(加熱冷却制御時は無効)</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	オートチューニング時出力リミット上限値	-5.0~105.0%(加熱冷却制御時は無効)	100.0%						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
オートチューニング時出力リミット上限値	-5.0~105.0%(加熱冷却制御時は無効)	100.0%																	
AT実行時の出力リミット下限値						AT.OL	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オートチューニング時出力リミット下限値</td> <td>-5.0~105.0%(加熱冷却制御時は無効)</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	オートチューニング時出力リミット下限値	-5.0~105.0%(加熱冷却制御時は無効)	0.0%						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
オートチューニング時出力リミット下限値	-5.0~105.0%(加熱冷却制御時は無効)	0.0%																	
AT時の実行SP値へのバイアス		なし			AT.BS	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オートチューニング時目標設定値バイアス</td> <td>PV入力レンジスパンの-100.0~100.0%</td> <td>PV入力レンジスパンの0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	オートチューニング時目標設定値バイアス	PV入力レンジスパンの-100.0~100.0%	PV入力レンジスパンの0.0%							
名称	設定範囲と解説	初期値																	
オートチューニング時目標設定値バイアス	PV入力レンジスパンの-100.0~100.0%	PV入力レンジスパンの0.0%																	
非線形制御不感帯幅					GW	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非線形制御不感帯幅</td> <td>OFF、PV入力レンジスパンの0.0%+1digit~50.0%(工業量)</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	非線形制御不感帯幅	OFF、PV入力レンジスパンの0.0%+1digit~50.0%(工業量)	OFF							
名称	設定範囲と解説	初期値																	
非線形制御不感帯幅	OFF、PV入力レンジスパンの0.0%+1digit~50.0%(工業量)	OFF																	
非線形制御ゲイン					GG	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非線形制御ゲイン</td> <td>0.001~1.000</td> <td>1.000</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	非線形制御ゲイン	0.001~1.000	1.000							
名称	設定範囲と解説	初期値																	
非線形制御ゲイン	0.001~1.000	1.000																	
手動操作時の出力リミッタ機能					OLMT	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力リミッタスイッチ</td> <td>OFF:手動運転時出力リミッタ無効 ON:手動運転時出力リミッタ有効</td> <td>ON</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	出力リミッタスイッチ	OFF:手動運転時出力リミッタ無効 ON:手動運転時出力リミッタ有効	ON							
名称	設定範囲と解説	初期値																	
出力リミッタスイッチ	OFF:手動運転時出力リミッタ無効 ON:手動運転時出力リミッタ有効	ON																	

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)															
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容												
マニュアルプリセット出力番号選択		なし	機能なし	STD	TUNE	MPON	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マニュアルプリセット出力番号選択</td> <td>OFF:パンプレス(自動運転時の制御出力値を保持) 1:マニュアルプリセット出力1を使用(出力パンプ) 2:マニュアルプリセット出力2を使用(出力パンプ) 3:マニュアルプリセット出力3を使用(出力パンプ) 4:マニュアルプリセット出力4を使用(出力パンプ) 5:マニュアルプリセット出力5を使用(出力パンプ) ※自動から手動に切り替えたときの出力を選択します。</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	マニュアルプリセット出力番号選択	OFF:パンプレス(自動運転時の制御出力値を保持) 1:マニュアルプリセット出力1を使用(出力パンプ) 2:マニュアルプリセット出力2を使用(出力パンプ) 3:マニュアルプリセット出力3を使用(出力パンプ) 4:マニュアルプリセット出力4を使用(出力パンプ) 5:マニュアルプリセット出力5を使用(出力パンプ) ※自動から手動に切り替えたときの出力を選択します。	OFF						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
マニュアルプリセット出力番号選択	OFF:パンプレス(自動運転時の制御出力値を保持) 1:マニュアルプリセット出力1を使用(出力パンプ) 2:マニュアルプリセット出力2を使用(出力パンプ) 3:マニュアルプリセット出力3を使用(出力パンプ) 4:マニュアルプリセット出力4を使用(出力パンプ) 5:マニュアルプリセット出力5を使用(出力パンプ) ※自動から手動に切り替えたときの出力を選択します。	OFF																	
マニュアルプリセット出力		なし	機能なし	STD	TUNE	MP01 ~ MP05	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マニュアルプリセット出力1~5</td> <td>-5.0 ~ 105.0% ※出力リミッタによる制限を受けます。</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	マニュアルプリセット出力1~5	-5.0 ~ 105.0% ※出力リミッタによる制限を受けます。	0.0%						
名称	設定範囲と解説				初期値														
マニュアルプリセット出力1~5	-5.0 ~ 105.0% ※出力リミッタによる制限を受けます。				0.0%														
Pパラメータ					PPAR	P01 ~ P10	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P01 ~ P10 パラメータ</td> <td>-19999 ~ 30000 (小数点位置は、LL50A パラメータ設定ソフトウェアで設定します)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	P01 ~ P10 パラメータ	-19999 ~ 30000 (小数点位置は、LL50A パラメータ設定ソフトウェアで設定します)	0						
名称	設定範囲と解説	初期値																	
P01 ~ P10 パラメータ	-19999 ~ 30000 (小数点位置は、LL50A パラメータ設定ソフトウェアで設定します)	0																	
折線選択		なし	機能なし	PRO	PYS1	PYS	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>折線選択</td> <td>OFF:使用しない PV:PV アナログ入力 RSP:RSP アナログ入力 AIN2:AIN2 アナログ入力 AIN4:AIN4 アナログ入力 PVIN:PV 入力 OUT:OUT アナログ出力 OUT2:OUT2 アナログ出力 RET:RET アナログ出力</td> <td>グループ1: PV グループ2~ グループ4: OFF</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	折線選択	OFF:使用しない PV:PV アナログ入力 RSP:RSP アナログ入力 AIN2:AIN2 アナログ入力 AIN4:AIN4 アナログ入力 PVIN:PV 入力 OUT:OUT アナログ出力 OUT2:OUT2 アナログ出力 RET:RET アナログ出力	グループ1: PV グループ2~ グループ4: OFF						
	名称				設定範囲と解説			初期値											
	折線選択				OFF:使用しない PV:PV アナログ入力 RSP:RSP アナログ入力 AIN2:AIN2 アナログ入力 AIN4:AIN4 アナログ入力 PVIN:PV 入力 OUT:OUT アナログ出力 OUT2:OUT2 アナログ出力 RET:RET アナログ出力			グループ1: PV グループ2~ グループ4: OFF											
	PYS2																		
PYS3																			
PYS4																			
初期値は制御モードがSGLの場合																			
折線入力1		1.a1 ~ 1.a11	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>折線1入力1</td> <td>測定入力レンジの-66.7~105.0%</td> <td>測定入力レンジの0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	折線1入力1	測定入力レンジの-66.7~105.0%	測定入力レンジの0.0%	STD	PYS1	A1 ~ A11	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>折線入力</td> <td>入力レンジの-66.7~105.0%(工業量) 出力折線:-5.0~105.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	折線入力	入力レンジの-66.7~105.0%(工業量) 出力折線:-5.0~105.0%	0.0%
名称	設定範囲と解説	初期値																	
折線1入力1	測定入力レンジの-66.7~105.0%	測定入力レンジの0.0%																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
折線入力	入力レンジの-66.7~105.0%(工業量) 出力折線:-5.0~105.0%	0.0%																	
折線出力1	PYS1	1.b1 ~ 1.b11	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>折線1出力1</td> <td>測定入力レンジスパンの-66.7~105.0% 折線近似のとき、測定入力レンジの-66.7~105.0%</td> <td>測定入力レンジスパンの0.0% 折線近似のとき、測定入力レンジの0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	折線1出力1	測定入力レンジスパンの-66.7~105.0% 折線近似のとき、測定入力レンジの-66.7~105.0%	測定入力レンジスパンの0.0% 折線近似のとき、測定入力レンジの0.0%	STD	PYS1	B1 ~ B11	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>折線出力</td> <td>折線バイアス: 入力レンジスパンの-66.7~105.0%(工業量) 折線近似: 入力レンジの-66.7~105.0%(工業量) 出力折線:-5.0 ~ 105.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	折線出力	折線バイアス: 入力レンジスパンの-66.7~105.0%(工業量) 折線近似: 入力レンジの-66.7~105.0%(工業量) 出力折線:-5.0 ~ 105.0%	0.0%
名称	設定範囲と解説	初期値																	
折線1出力1	測定入力レンジスパンの-66.7~105.0% 折線近似のとき、測定入力レンジの-66.7~105.0%	測定入力レンジスパンの0.0% 折線近似のとき、測定入力レンジの0.0%																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
折線出力	折線バイアス: 入力レンジスパンの-66.7~105.0%(工業量) 折線近似: 入力レンジの-66.7~105.0%(工業量) 出力折線:-5.0 ~ 105.0%	0.0%																	
折線入力2~4		なし	機能なし	STD PRO PRO	PYS2 PYS3 PYS4	A1 ~ A11	PYS1と同じ												
折線出力2~4				STD PRO PRO	PYS2 PYS3 PYS4	B1 ~ B11	PYS1と同じ												

2.2 セットアップパラメータ

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)				
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容	
入力サンプリング周期	UPMD > MD	SMP	100ms、200ms (初期値)、500ms	STD	CTL	SMP	100:100 ミリ秒 200:200 ミリ秒 (初期値)	
サンプリング周期エラーカウンタ (表示のみ)		SMEC	0~30000 初期値:電源オン時0を表示				なし	機能なし
PV入力種類	UPMD > IN	IN1	※電流入力 (mA) なし	EASY	PV	IN	※電流入力 (mA) あり (4-20mA、0-20mA を選択可能です。)	
入力単位		UNI1	※華氏:設定可能 (英語版の取扱説明書にだけ掲載しています。)			UNIT	※華氏:設定不可	
入力レンジ最大値		RH1	測定入力レンジの範囲を設定します。(RL1<RH1) —温度入力の場合— 実際に制御する温度範囲を設定します。 —電圧入力の場合—			RH	入力種類による —温度入力の場合— 実際に制御する温度範囲を設定します。(RL < RH) —電圧/電流入力の場合—	
入力レンジ最小値		RL1	電圧信号の範囲を設定します。 実際に制御するスケール値は、測定入力スケール最大値 (SH1) と測定入力スケール最小値 (SL1) で設定します。			RL	電圧/電流信号の範囲を設定します。 実際に制御するスケール値は、入力スケール最大値 (SH) と入力スケール最小値 (SL) で設定します。 (RL=RH の場合、入力は常に0%になります)	
入力スケール小数点位置		SDP1	電圧入力時の測定入力小数点位置を設定します。 0~4 0:小数点なし、1:小数点以下1桁、2~4:各桁位置			SDP	0:小数点なし、1:小数点以下1桁、2:小数点以下2桁、3:小数点以下3桁 4:小数点以下4桁	
入力スケール最大値		SH1	SH1-SL1 ≤ 30000 でリミットされます。			SH	-19999 ~ 30000 (SL < SH)、 SH - SL ≤ 30000	
入力スケール最小値		SL1				SL	* SH-SL ≥ 30000 の設定可能です。	
入力バーンアウト動作		BSL1	測定入力断線時の測定値を決めることができます。 アップスケールを設定したとき、測定入力レンジの105%、ダウンスケールを設定したとき、測定入力レンジの-5.0%が測定入力値となります。 OFF: オフ UP: アップスケール DOWN: ダウンスケール			STD	BSL	OFF: バーンアウト機能なし UP: アップスケール DOWN: ダウンスケール
入力外部基準接点補償		RJC1	熱電対入力の入力補償を設定できます。 OFF: なし ON: あり (初期値)			PRO	RJC	OFF: RJC オフ ON: RJC オン (初期値)
入力外部基準接点補償設定値		なし	機能なし				ERJC	機能あり -10.0 ~ 60.0°C (初期値 0.0°C)
補助 (RSP) 入力種類	UPMD > IN	IN3	IN1 と同じ	EASY	RSP	IN	/DRがない場合は下記の設定範囲になります。 /DR付加時はPVのINと同じ仕様となります。 0.4-2V: 0.400 ~ 2.000V 1-5V: 1.000 ~ 5.000V (初期値) 0-2V: 0.000 ~ 2.000V 0-10V: 0.00 ~ 10.00V 0-125: 0.000 ~ 1.250V	
入力単位		UNI3	UNI1 と同じ			UNIT	PVのUNITと同じ	

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)								
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容					
入力レンジ最大値	UPMD > IN	RH3	RH1と同じ	EASY		RH	PVのRHと同じ					
入力レンジ最小値		RL3	RL1と同じ			RL	PVのRLと同じ					
入力スケール小数点位置		SDP3	SDP1と同じ			SDP	PVのSDPと同じ					
入力スケール最大値		SH3	SH1と同じ			SH	PVのSHと同じ					
入力スケール最小値		SL3	SL3と同じ			SL	PVのSLと同じ					
入力バーンアウト動作		BSL3	BSL1と同じ			STD	BSL	PVのBSLと同じ				
入力外部基準接点補償		なし	機能なし	PRO	RSP	RJC	/DR付加時のみ機能あり OFF:RJCオフ、ON:RJCオン(初期値)					
入力外部基準接点補償設定値		なし	機能なし			ERJC	/DR付加時のみ機能あり -10.0~60.0℃(初期値0.0℃)					
RTD線式		なし	機能なし			STD	RTD.S	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RTD線式</td> <td>3-W:3線式 4-W:4線式</td> <td>3-W</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	RTD線式
名称	設定範囲と解説	初期値										
RTD線式	3-W:3線式 4-W:4線式	3-W										
PV単位	UPMD > IN	P.UN1	%:パーセント、℃:摂氏、-:無単位	STD	MPV	P.UNI	-:無単位、C:摂氏、-:無単位、--:無単位、---:無単位					
PV小数点位置		P.DP1	0~4			P.DP	0~4					
PVレンジ最大値		P.RH1	通常は、測定入力レンジ最大値と最小値の範囲で使します。 -19999~30000			P.RH	-19999~30000、(P.RL < P.RH)、 P.RH - P.RL ≤ 30000					
PVレンジ最小値		P.RL1	P.RL1 < P.RH1、ただしP.RH1 - P.RL1 ≤ 30000			P.RL						

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)															
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容												
制御モードの選択	UPMD > OUT	OT1	PID制御、オンオフ制御、加熱冷却制御と出力種類を下記表の組み合わせから選択	EASY	CTL	CNT	4種類から選択												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御タイプ</td> <td>PID:PID 制御 ONOF:オン/オフ制御(ヒステリシス1点) ONOF2:オン/オフ制御(ヒステリシス2点) H/C:加熱冷却制御</td> <td>一般形:PID 加熱冷却形:H/C</td> </tr> </tbody> </table>				名称	設定範囲と解説	初期値	制御タイプ	PID:PID 制御 ONOF:オン/オフ制御(ヒステリシス1点) ONOF2:オン/オフ制御(ヒステリシス2点) H/C:加熱冷却制御	一般形:PID 加熱冷却形:H/C							
名称	設定範囲と解説	初期値																	
制御タイプ	PID:PID 制御 ONOF:オン/オフ制御(ヒステリシス1点) ONOF2:オン/オフ制御(ヒステリシス2点) H/C:加熱冷却制御	一般形:PID 加熱冷却形:H/C																	
制御出力種類1			<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御出力種類</td> <td>0:時間比例PIDリレー接点出力(端子①-②-③) 1:時間比例PID電圧/パルス出力(端子⑯-⑰) 2:電流出力(端子⑯-⑰) 3:オンオフ制御リレー接点出力(端子①-②-③) 設定値4~12は、加熱冷却形の調節計のみ設定できます。 4:加熱側リレー出力(端子①-②-③)・冷却側リレー出力(端子④⑧-④⑨-⑤⑩) 5:加熱側パルス出力(端子⑯-⑰)・冷却側リレー出力(端子④⑧-④⑨-⑤⑩) 6:加熱側電流出力(端子⑯-⑰)・冷却側リレー出力(端子④⑧-④⑨-⑤⑩) 7:加熱側パルス出力(端子①-②-③)・冷却側パルス出力(端子④⑥-④⑦) 8:加熱側パルス出力(端子⑯-⑰)・冷却側パルス出力(端子④⑥-④⑦) 9:加熱側電流出力(端子⑯-⑰)・冷却側パルス出力(端子④⑥-④⑦) 10:加熱側リレー出力(端子①-②-③)・冷却側電流出力(端子④⑥-④⑦) 11:加熱側パルス出力(端子⑯-⑰)・冷却側電流出力(端子④⑥-④⑦) 12:加熱側電流出力(端子⑯-⑰)・冷却側電流出力(端子④⑥-④⑦)</td> <td>0 加熱冷却形:4</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	制御出力種類	0:時間比例PIDリレー接点出力(端子①-②-③) 1:時間比例PID電圧/パルス出力(端子⑯-⑰) 2:電流出力(端子⑯-⑰) 3:オンオフ制御リレー接点出力(端子①-②-③) 設定値4~12は、加熱冷却形の調節計のみ設定できます。 4:加熱側リレー出力(端子①-②-③)・冷却側リレー出力(端子④⑧-④⑨-⑤⑩) 5:加熱側パルス出力(端子⑯-⑰)・冷却側リレー出力(端子④⑧-④⑨-⑤⑩) 6:加熱側電流出力(端子⑯-⑰)・冷却側リレー出力(端子④⑧-④⑨-⑤⑩) 7:加熱側パルス出力(端子①-②-③)・冷却側パルス出力(端子④⑥-④⑦) 8:加熱側パルス出力(端子⑯-⑰)・冷却側パルス出力(端子④⑥-④⑦) 9:加熱側電流出力(端子⑯-⑰)・冷却側パルス出力(端子④⑥-④⑦) 10:加熱側リレー出力(端子①-②-③)・冷却側電流出力(端子④⑥-④⑦) 11:加熱側パルス出力(端子⑯-⑰)・冷却側電流出力(端子④⑥-④⑦) 12:加熱側電流出力(端子⑯-⑰)・冷却側電流出力(端子④⑥-④⑦)	0 加熱冷却形:4	OUT	OT	出力種類選択	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲と解説</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力種類選択</td> <td>制御出力または加熱側制御出力(下2桁) 00:OFF 01:OUT 端子(電圧/パルス) 02:OUT 端子(電流) 03:OUT 端子(リレー/トライアック) 04:OUT2 端子(電圧/パルス) 05:OUT2 端子(電流) 06:OUT2 端子(リレー/トライアック) 冷却側制御出力(上2桁) 00:OFF 01:OUT 端子(電圧/パルス) 02:OUT 端子(電流) 03:OUT 端子(リレー/トライアック) 04:OUT2 端子(電圧/パルス) 05:OUT2 端子(電流) 06:OUT2 端子(リレー/トライアック)</td> <td>一般形:00.03 加熱冷却形:06.03</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲と解説	初期値	出力種類選択	制御出力または加熱側制御出力(下2桁) 00:OFF 01:OUT 端子(電圧/パルス) 02:OUT 端子(電流) 03:OUT 端子(リレー/トライアック) 04:OUT2 端子(電圧/パルス) 05:OUT2 端子(電流) 06:OUT2 端子(リレー/トライアック) 冷却側制御出力(上2桁) 00:OFF 01:OUT 端子(電圧/パルス) 02:OUT 端子(電流) 03:OUT 端子(リレー/トライアック) 04:OUT2 端子(電圧/パルス) 05:OUT2 端子(電流) 06:OUT2 端子(リレー/トライアック)	一般形:00.03 加熱冷却形:06.03
名称	設定範囲と解説	初期値																	
制御出力種類	0:時間比例PIDリレー接点出力(端子①-②-③) 1:時間比例PID電圧/パルス出力(端子⑯-⑰) 2:電流出力(端子⑯-⑰) 3:オンオフ制御リレー接点出力(端子①-②-③) 設定値4~12は、加熱冷却形の調節計のみ設定できます。 4:加熱側リレー出力(端子①-②-③)・冷却側リレー出力(端子④⑧-④⑨-⑤⑩) 5:加熱側パルス出力(端子⑯-⑰)・冷却側リレー出力(端子④⑧-④⑨-⑤⑩) 6:加熱側電流出力(端子⑯-⑰)・冷却側リレー出力(端子④⑧-④⑨-⑤⑩) 7:加熱側パルス出力(端子①-②-③)・冷却側パルス出力(端子④⑥-④⑦) 8:加熱側パルス出力(端子⑯-⑰)・冷却側パルス出力(端子④⑥-④⑦) 9:加熱側電流出力(端子⑯-⑰)・冷却側パルス出力(端子④⑥-④⑦) 10:加熱側リレー出力(端子①-②-③)・冷却側電流出力(端子④⑥-④⑦) 11:加熱側パルス出力(端子⑯-⑰)・冷却側電流出力(端子④⑥-④⑦) 12:加熱側電流出力(端子⑯-⑰)・冷却側電流出力(端子④⑥-④⑦)	0 加熱冷却形:4																	
名称	設定範囲と解説	初期値																	
出力種類選択	制御出力または加熱側制御出力(下2桁) 00:OFF 01:OUT 端子(電圧/パルス) 02:OUT 端子(電流) 03:OUT 端子(リレー/トライアック) 04:OUT2 端子(電圧/パルス) 05:OUT2 端子(電流) 06:OUT2 端子(リレー/トライアック) 冷却側制御出力(上2桁) 00:OFF 01:OUT 端子(電圧/パルス) 02:OUT 端子(電流) 03:OUT 端子(リレー/トライアック) 04:OUT2 端子(電圧/パルス) 05:OUT2 端子(電流) 06:OUT2 端子(リレー/トライアック)	一般形:00.03 加熱冷却形:06.03																	
CT(サイクルタイム)の設定時間	UPMD > OUT	CT1	設定範囲:1~1000秒	EASY	OUT	CT	設定範囲:0.5~1000.0 秒												
		CTc1	初期値:30秒			CTc	初期値:30.0秒												
アナログ出力1~3種類		A01 ~ A03	0:4~20mA(初期値)、1:0~20mA、2:20~4mA、3:20~0mA	STD	OU.A	4-20:4~20mA(初期値)、0-20:0~20mA、20-4:20~4mA、20-0:20~0mA													
アナログ出力1(100%折れ点)		A1H	-5.0~105.0 %	PRO	OU.H	-100.0 ~ 200.0%													
アナログ出力1(0%折れ点)		A1L																	
アナログ出力2(100%折れ点)		A2H			初期値														
アナログ出力2(0%折れ点)		A2L			H:100.0%														
アナログ出力3(100%折れ点)	A3H	L:0.0%																	
アナログ出力3(0%折れ点)	A3L																		

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)				
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容	
通信パラメータ プロトコル選択(PSL)初期値と 設定種類追加	UPMD > R485	PSL1	0:パソコンリンク通信(初期値) 1:パソコンリンク通信(サムチェック付き) 2:ラダー通信 3:協調親局 7:MODBUS(ASCII) 8:MODBUS(RTU)	EASY	R485	PSL	PCL:パソコンリンク通信 PCLSM:パソコンリンク通信(チェックサム付き) LADR:ラダー通信 CO-M:協調親局 MBASC:Modbus(ASCII) MBRTU:Modbus(RTU)(初期値) CO-M2:協調親局(2ループモード) P-P:機器間通信	
通信パラメータ ボーレート(BPS)初期値と設定 範囲	UPMD > R485	BPS1	600、1200、2400、4800、 9600(初期値) (bps)				600:600 bps 1200:1200 bps 2400:2400 bps 4800:4800 bps 9600:9600 bps 19200:19.2 kbps(初期値) 38400:38.4 kbps(E4端子エリアの通信は除く)	
通信パラメータ パリティ	UPMD > R485	PRI1	NONE:なし、 EVEN:偶数(初期値) 、 ODD:奇数				PRI	NONE:パリティなし、 EVEN:偶数(初期値) 、 ODD:奇数
通信パラメータ ストップビット	UPMD > R485	STP1	1(初期値) 、2				STP	1:1ビット(初期値) 、 2:2ビット
通信パラメータ データ長	UPMD > R485	DLN1	7、 8(初期値) MODBUS(ASCII)のとき、7固定です。 MODBUS(RTU)、ラダーのとき、8固定です。				DLN	7:7ビット 、 8:8ビット(初期値)
通信パラメータ アドレス	UPMD > R485	ADR1	1~99、ただし最大31台まで接続可能 初期値:1				ADR	1~99 初期値:1
通信パラメータ 最小応答時間	UPMD > R485	RP.T1	0~10(×10ms.) 初期値:0				PRO	RP.T 0~10(×10ms.) 初期値:0
パラメータ初期化 ユーザ設定 値初期化		なし	機能なし	PRO	INIT	U.DEF 12345 を設定すると初期化実行 実行後0に戻ります。 初期値:0		
工場出荷時値初期化	UPMD > INT	INI	OFF(初期値) ON:パラメータ初期化実行			F.DEF -12345 を設定すると初期化実行 実行後0に戻ります。 初期値:0		
プログラムパターン データ全消去		なし	機能なし(パターンごとの個別消去はプログラムパラメータにて可能)	PRO	INIT	P.DEF 13579 を設定すると消去実行 実行後0に戻ります。 初期値:0 ※メニュー「PROG」内データ全消去		

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)			
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容
SPトラッキング選択	PARA > SP	SPT	プログラム運転からローカル運転に切替わるときトラッキング(ローカル設定値がプログラム設定値に追従) OFF:機能しない(初期値) ON:機能する	STD	運転パラメータ > SPS	SPT	リモート運転⇒ローカル運転時の機能追加 OFF(初期値)、ON ※プログラム運転またはリモート運転からローカル運転に切り替わるときトラッキングします。(ローカル設定値がプログラム設定値に追従)
プログラム時間単位		TMU	hh:mm:時分(初期値) mm:ss:分秒	EASY	CTL	TMU	HH.MM:時分(初期値) MM.SS:分秒
セグメント設定方法		SEG.T	プログラムの作成方法を設定します。 (注) 設定を変更するとプログラムが消去されます。 0:セグメント時間設定方式(初期値) 1:セグメント勾配設定方式			SEG.T	TIME:セグメント時間設定(初期値) TM.RT:セグメント勾配・時間設定 注:設定を変更すると、プログラムパターンが消去されます。
プログラムパターン2伝送		PT2.G	プログラムパターン発生器としての機能を備えています。制御用のプログラムパターンとは別にもう一つプログラムパターンを作成できます。なお、セグメントの時間は、制御用のプログラム時間と同じになります。 OFF:使用しない(初期値) ON:使用する	STD	PT2.G	OFF:使用しない(初期値) ON:使用する ※伝送用のプログラムパターンを作成することができます。 ※伝送出力種類(RTS、O1RSまたはO2RS)をSP2に設定する必要があります。	
プログラムパターン番号クリア指定		PNC	プログラム運転終了後、運転画面のプログラムパターン番号を“0”にクリアします。 OFF:クリア無し(プログラムパターン番号をそのまま表示する)(初期値) ON:クリア(プログラムパターン番号を“0”にする)	STD	運転パラメータ > SPS	PNC	OFF:クリアなし(初期値) ON:クリア(プログラムパターン番号0) ※ 運転終了後、プログラムパターン番号を“0”に戻します。
SPリミット上限値		SPH1	プログラム動作時、プログラム設定値に制限をかけます。 測定入力レンジの0.0~100.0%(但しSPL1<SPH1) 初期値	STD	MPV	SPH	制御PV入力レンジの0.0~100.0%(工業量)、(SPL < SPH) 初期値
SPリミット下限値		SPL1	SPH1:測定入力レンジの100.0% SPL1:測定入力レンジの0.0%			SPL	SPH:制御PV入力レンジの100.0% SPL:制御PV入力レンジの0.0%
SPリミット上限値(パターン2伝送時)		SPH2	プログラム動作時、プログラム設定値に制限をかけます。 測定入力レンジの0.0~100.0%(但しSPL2<SPH2) 初期値			SPH (LP2点灯)	※ 運転時、プログラム設定値、ローカル設定値またはリモート設定値に制限をかけることができます。 ※ LP2 ランプ点灯時のSPH、SPLは、プログラムパターン2伝送用のプログラム設定値に制限をかけます。
SPリミット下限値(パターン2伝送時)	SPL2	SPH2:測定入力レンジの100.0% SPL2:測定入力レンジの0.0%	SPL (LP2点灯)			※ プログラムパターン作成時は機能しません。	

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)																																																														
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容																																																											
PVイベント1~8ヒステリシス	PARA > ALM	PEH1 ~ PEH8	<p>PVイベント設定値に動作すきまを設定できます。ヒステリシスを設定することによりリレーのチャタリングを防止できます。</p> <p>測定値上限警報の場合のヒステリシス</p> <p>測定入力レンジスパンの0.0~100.0% 初期値:0.5%</p>	STD		EHY1 ~ EHY8	<p>PV イベントとローカルイベントのヒステリシス設定値をパーセントで設定します。</p> <p>0.0 ~ 100.0% 設定値は、PV 入力レンジスパンまたは出力スパンに対するパーセントです。 初期値:0.5%</p>																																																											
警報1~4種類 (計器警報1~4種類)	PARA > ALM	AL1 ~ AL4	<p>PVイベント、ローカルイベントの種類と動作を以下に示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>警報の種類</th> <th>警報動作</th> <th>警報の種類</th> <th>警報動作</th> <th>警報の種類</th> <th>警報動作</th> </tr> <tr> <th>種類コード</th> <th>種類コード</th> <th>種類コード</th> <th>種類コード</th> <th>種類コード</th> <th>種類コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警報なし</td> <td>ヒステリシス 期間: リレー接点の状態を、(点) (線はランプの状態を示す。)</td> <td>OFF</td> <td>ヒステリシス</td> <td>偏差下 限 警 報 時 非 防 止</td> <td>ヒステリシス 期間: リレー接点の状態を、(点) (線はランプの状態を示す。)</td> </tr> <tr> <td>測定値上限</td> <td>ヒステリシス 測定値 警報設定値</td> <td>1</td> <td>偏差下 限 警 報 時 非 防 止</td> <td>ヒステリシス 偏差設定値 測定値</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>測定値下限</td> <td>ヒステリシス 測定値 警報設定値</td> <td>2</td> <td>偏差上下 限</td> <td>ヒステリシス 偏差設定値 測定値</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>偏差上限</td> <td>ヒステリシス 測定値 偏差設定値 目標設定値</td> <td>3</td> <td>上 下 限 偏 差 内</td> <td>ヒステリシス 偏差設定値 測定値</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>偏差下限</td> <td>ヒステリシス 偏差設定値 測定値 目標設定値</td> <td>4</td> <td>測定値上 限 非 防 止</td> <td>ヒステリシス 測定値 警報設定値</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>偏差上限 警 報 時 非 防 止</td> <td>ヒステリシス 測定値 偏差設定値 目標設定値</td> <td>5</td> <td>測定値下 限 非 防 止</td> <td>ヒステリシス 測定値 警報設定値</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>設定値上限</td> <td>ヒステリシス 設定値 警報設定値</td> <td>28</td> <td>出力値上 限</td> <td>ヒステリシス 出力値 警報設定値</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>設定値下限</td> <td>ヒステリシス 設定値 警報設定値</td> <td>29</td> <td>出力値下 限</td> <td>ヒステリシス 出力値 警報設定値</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>初期値: AL1、AL3:1(測定値上限(励磁,待機動作なし)) AL2、AL3:2(測定値下限(励磁,待機動作なし))</p> <p>その他の警報種類 25:センサ接地警報、26:故障診断出力(注1)、27:FAIL出力(注2) (注1)故障診断出力は、入力バーンアウト、AD異常、R/C不良のいずれかのとき出力されます。 入力バーンアウト、ADC以上のときの制御出力は、プリセット出力値PO(運転パラメータ)となります。 (注2)FAIL出力は正常時オンで、異常時オフとなります。</p>	警報の種類	警報動作	警報の種類	警報動作	警報の種類	警報動作	種類コード	種類コード	種類コード	種類コード	種類コード	種類コード	警報なし	ヒステリシス 期間: リレー接点の状態を、(点) (線はランプの状態を示す。)	OFF	ヒステリシス	偏差下 限 警 報 時 非 防 止	ヒステリシス 期間: リレー接点の状態を、(点) (線はランプの状態を示す。)	測定値上限	ヒステリシス 測定値 警報設定値	1	偏差下 限 警 報 時 非 防 止	ヒステリシス 偏差設定値 測定値	6	測定値下限	ヒステリシス 測定値 警報設定値	2	偏差上下 限	ヒステリシス 偏差設定値 測定値	7	偏差上限	ヒステリシス 測定値 偏差設定値 目標設定値	3	上 下 限 偏 差 内	ヒステリシス 偏差設定値 測定値	8	偏差下限	ヒステリシス 偏差設定値 測定値 目標設定値	4	測定値上 限 非 防 止	ヒステリシス 測定値 警報設定値	9	偏差上限 警 報 時 非 防 止	ヒステリシス 測定値 偏差設定値 目標設定値	5	測定値下 限 非 防 止	ヒステリシス 測定値 警報設定値	10	設定値上限	ヒステリシス 設定値 警報設定値	28	出力値上 限	ヒステリシス 出力値 警報設定値	30	設定値下限	ヒステリシス 設定値 警報設定値	29	出力値下 限	ヒステリシス 出力値 警報設定値	31		運転パラメータ > ALRM	<p>運転モードに関係なく動作する警報です。設定は、下記の順番で5桁です。 [ラッチ動作(0/1/2/3/4)] + [励磁(0)または非励磁(1)] + [待機動作無(0)または有(1)] + [警報種類2桁(下記)] 警報種類2桁 00:未設定、01:PV上限、02:PV下限、03:SP上限、04:SP下限、05:偏差上限、06:偏差下限、07:偏差上下限、08:上下限偏差内、09:到達SP 上限、10:到達SP 下限、11:到達SP偏差上限、12:到達SP 偏差下限、13:到達SP偏差上下限、14:到達SP上下限偏差内、15:制御出力上限、16:制御出力下限、17:冷却側制御出力上限、18:冷却側制御出力下限、19:アナログ入力PV 上限、20:アナログ入力PV 下限、21:アナログ入力RSP 上限、22:アナログ入力RSP 下限、23:アナログ入力AIN2 上限、24:アナログ入力AIN2 下限、25:アナログ入力AIN4 上限、26:アナログ入力AIN4 下限、27:フィードバック入力上限、28:フィードバック入力下限、29:PV 変化率、30:自己診断、31:FAIL、32:%偏差上限警報、33:%偏差下限警報、34:%偏差上下限警報、35:上下限%偏差内警報、36:到達SP%偏差上限警報、37:到達SP%偏差下限警報、38:到達SP%偏差上下限警報、39:到達SP 上下限%偏差内警報</p> <p>初期値: AL1、AL3:0.0.0.01(ラッチ動作[0].励磁[0].待機動作無[0].PV上限[01]) AL2、AL4:0.0.0.02(ラッチ動作[0].励磁[0].待機動作無[0].PV下限[02])</p>
警報の種類	警報動作	警報の種類	警報動作	警報の種類	警報動作																																																													
種類コード	種類コード	種類コード	種類コード	種類コード	種類コード																																																													
警報なし	ヒステリシス 期間: リレー接点の状態を、(点) (線はランプの状態を示す。)	OFF	ヒステリシス	偏差下 限 警 報 時 非 防 止	ヒステリシス 期間: リレー接点の状態を、(点) (線はランプの状態を示す。)																																																													
測定値上限	ヒステリシス 測定値 警報設定値	1	偏差下 限 警 報 時 非 防 止	ヒステリシス 偏差設定値 測定値	6																																																													
測定値下限	ヒステリシス 測定値 警報設定値	2	偏差上下 限	ヒステリシス 偏差設定値 測定値	7																																																													
偏差上限	ヒステリシス 測定値 偏差設定値 目標設定値	3	上 下 限 偏 差 内	ヒステリシス 偏差設定値 測定値	8																																																													
偏差下限	ヒステリシス 偏差設定値 測定値 目標設定値	4	測定値上 限 非 防 止	ヒステリシス 測定値 警報設定値	9																																																													
偏差上限 警 報 時 非 防 止	ヒステリシス 測定値 偏差設定値 目標設定値	5	測定値下 限 非 防 止	ヒステリシス 測定値 警報設定値	10																																																													
設定値上限	ヒステリシス 設定値 警報設定値	28	出力値上 限	ヒステリシス 出力値 警報設定値	30																																																													
設定値下限	ヒステリシス 設定値 警報設定値	29	出力値下 限	ヒステリシス 出力値 警報設定値	31																																																													
警報5~8種類 (計器警報5~8種類)		なし	機能なし			AL5 ~ AL8	AL1~AL4と同じ 初期値:AL5 ~ AL8は工場出荷時表示されません。																																																											
PV変化率警報時間設定値1~8						VT1 ~ VT8	00.01 ~ 99.59(分.秒) 初期値:1.00																																																											

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)			
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容
警報1~4ヒステリシス (計器警報1~4ヒステリシス)	PARA > ALM	HY1 ~ HY4	<p>警報設定値に動作すきまを設定できます。 ヒステリシスを設定することによりリレーのチャタリングを防止できます。</p> <p>測定値上限警報の場合のヒステリシス</p> <p>測定入力レンジスパンの0.0~100.0% 出力値警報時:0.0~100.0% 初期値:測定入力レンジスパンの0.5%、出力値警報:0.5%</p>	EASY	運転パラメータ > ALRM	HY1 ~ HY4	ヒステリシスの設定値を表示値で設定します。 -19999 ~ 30000 (入力レンジ範囲内で設定してください) 初期値:10 小数点位置は、入力種類によります。入力種類が小数点以下1桁の場合、ヒステリシスの初期値は1.0となります。
警報5~8ヒステリシス (計器警報5~8ヒステリシス)				HY5 ~ HY8		HY1~HY4と同じ	
警報1~8オンディレイタイム		なし	機能なし	STD		DYN1 ~ DYN8	0.00 ~ 99.59 (分秒)
警報1~8オフディレイタイム				PRO		DYF1 ~ DYF8	初期値:0.00
警報モード	PARA > ALM	AMD	<p>運転状態により計器警報機能を動作させるか否かを設定できます。</p> <p>0:常に動作(初期値) 1:運転停止時動作しない 2:運転停止または手動運転時動作しない</p>	STD		AMD	<p>0:常に警報が動作(初期値) 1:運転停止(RESET)時、警報は動作しない 2:運転停止(RESET)または手動運転時、警報は動作しない</p>
出力変化率リミッタ		OPR1	<p>制御出力の変化率を制限できます。</p> <p>OFF:機能しない(初期値) 0.1~100.0%/秒</p>	STD	運転パラメータ > TUNE	OPR	OFF:機能しない(初期値) 0.1 ~ 100.0%/秒
PID制御モード		MOD1	<p>0:追値制御(設定値変更時出力バンプ有り)(初期値) 1:定値制御(設定値変更時出力バンプ無し) 圧力や流量制御する場合は、“定値制御”を選択してください。</p>	PRO	CTL	ALG	0:追値制御モード(初期値) 1:定値制御モード
アンチリセットwindアップ (過積分抑制機能)	PARA > CTL	AR1	<p>制御出力値が100%または0%にはりつくようなとき、使用します。 設定値が大きいほどPID演算(積分演算)を早く停止します。 AUTO(初期値)、50.0~200.0%</p>	STD	運転パラメータ > TUNE	AR	AUTO(初期値)、50.0 ~ 200.0%
ゾーンPID選択		ZON	<p>セグメントPIDのとき、セグメントごとのPID定数を選択します。 ゾーンPIDのとき、リファレンスポイントで設定した温度範囲により自動的にPID定数を選択します。</p> <p>0:セグメントPID 1:ゾーンPID(初期値)</p>	STD	CTL	ZON	<p>0:セグメントPID 選択方式 1:ゾーンPID 選択方式(PV)(初期値) 2:ゾーンPID 選択方式(到達SP) 4:ゾーンPID 選択方式(SP) 5:ローカルPID 選択方式 ※セグメントPID 選択方式のとき、セグメントごとにPID を選択します。 ※ゾーンPID 選択方式のとき、リファレンスポイントで設定した範囲により自動的にPID 定数を選択します。 ※ローカルPID 選択方式のとき、運転モードに関係なくローカルPID を選択します。</p>

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)			
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容
リスタートモード		R.MD	2秒以上の停電が起きたとき、調節計の復帰状態を決めることができます。 CONT: 停電前の動作を継続します。(初期値) MAN: 手動運転状態から開始します。 RESET: 停電前の動作を継続かつプリセット出力値から演算を開始します。	STD	SYS	R.MD	CONT: 停電前の動作を継続します。(初期値) MAN: 手動モードから開始します。 RESET: 自動モードかつリセットで開始されます。プリセット出力値が出力されます。 ※ 5秒以上の停電が起きたとき、調節計の復帰状態を設定します。
PID組数		GRP	PIDパラメータの表示組数を決定します。 1: 1組表示します。2: 2組表示します。3: 3組表示します。 4: 4組表示します。5~8: 設定した数のパラメータ組を表示します。			なし	機能なし
リファレンスポイント1~6	PARA > CTL	1.RP1 ~ 6.RP1	温度帯によりPID定数を切替えるポイントを設定します。最大6つまで設定できます。温度帯は最大7ゾーンまでです。 測定入力レンジの0.0~100.0% 但し1.RP1 ≤ 2.RP1 ≤ 3.RP1 ≤ 4.RP1 ≤ 5.RP1 ≤ 6.RP1 初期値: 測定入力レンジの100.0% 以下の例は、リファレンスポイント1と2を設定し、3つのゾーンを設けPID定数を自動的に切替えます。 	STD	運転パラメータ > ZONE	RP1 ~ RP6	PV 入力レンジの0.0 ~ 100.0% (工業量) (RP1 ≤ RP2 ≤ RP3 ≤ RP4 ≤ RP5 ≤ RP6 ≤ RP7) ※ 温度帯によりPID定数を切り替えるポイントを設定します。 初期値: PV入力レンジの100.0%
リファレンスポイント7		なし	機能なし			RP7	RP1~RP6と同じです。
ゾーン切り替のヒステリシス	PARA > CTL	RHY1	リファレンスポイントでの切替時、ヒステリシスを設定できます。 測定入力レンジスパンの0.0~10.0% 初期値: 測定入力レンジスパンの0.5%			RHY	PV入力レンジスパンの0.0 ~ 10.0% (工業量) ※リファレンスポイントでの切替時、ヒステリシスを設定できます。 初期値: PV入力レンジスパンの0.5%

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)			
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容
リファレンス偏差	PARA > CTL	RDV1	<p>プログラム設定値との偏差によりPIDを選択するとき使用します。 偏差を外れたとき、GRPの設定値のPIDを使用します。 下図の例は、リファレンスポイントを設定しないで、リファレンス偏差のみを設定したものです。選択するPID組は、次の通りです。 (1)の領域は、偏差範囲内ですので、1組目のPIDパラメータが使用されます。 (2)の領域は、偏差範囲外ですので、PID組数(GRP)で設定した番号のPIDパラメータが使用されます。</p> <p>OFF:機能しない(初期値) 測定入力レンジスパンの0.0~100.0%</p>	STD	運転パラメータ > ZONE	RDV	OFF:使用しない(初期値) PV 入力レンジスパンの0.0%+1digit ~ 100.0% ※ SP からの偏差を設定します。この偏差から外れたとき、リファレンス偏差用のPID が使用されます。
アナログ入力バイアス	CMLP > AIN	A.BS1	<p>予め測定入力値を補正したい場合に使用します。 通常運転時は、運転パラメータの測定入力バイアス (BS) を使用します。 測定入力レンジスパンの-100.0~100.0% 初期値:測定入力レンジスパンの0.0%</p>	STD	PV	A.BS	PV入力レンジスパンの-100.0~ 100.0%(工業量) 初期値:PV入力レンジスパンの0.0%
アナログ入力フィルタ		A.FL1	OFF:機能しない(初期値)、1~120秒	A.FL		OFF(初期値)、1 ~ 120 秒	
アナログ入力開平演算の有無		A.SR1	<p>測定入力値に開平演算を施します。 OFF:開平演算しない(初期値) ON:開平演算する</p>	PRO		A.SR	<p>OFF:開平演算なし(初期値) 1:開平演算あり(傾き1) 2:開平演算あり(傾き0)</p>
アナログ入力ローカット		A.LC1	<p>0.0~5.0% (初期値 1.0%) ローカット点以下は、傾き"1"となります。</p>	A.LC		0.0 ~ 5.0% (初期値 1.0%)	
アナログ入力3 (RSP) バイアス		A.BS3	<p>単ループ制御では使用しません。 予め測定入力2値を補正したい場合に使用します。 通常運転時は、運転パラメータの測定入力バイアス (BS) を使用します。 測定入力2レンジスパンの-100.0~100.0% 初期値:測定入力2レンジスパンの0.0%</p>	PRO	RSP	A.BS	RSP入力レンジスパンの-100.0~ 100.0%(工業量) 初期値:RSP入力レンジスパンの0.0%
アナログ入力3 (RSP) フィルタ		A.FL3	<p>単ループ制御では使用しません。 OFF:機能しない(初期値)、1~120秒</p>			A.FL	OFF(初期値)、1 ~ 120 秒
アナログ入力3 (RSP) 開平演算の有無		A.SR3	<p>単ループ制御では使用しません。 測定入力2値に開平演算を施します。 OFF:開平演算しない(初期値) ON:開平演算する</p>			A.SR	<p>OFF:開平演算なし(初期値) 1:開平演算あり(傾き1) 2:開平演算あり(傾き0)</p>
アナログ入力3 (RSP) ローカット	A.LC3	<p>単ループ制御では使用しません。 測定入力2値に開平演算を施します。 OFF:開平演算しない(初期値) ON:開平演算する</p>	A.LC			0.0 ~ 5.0% (初期値 1.0%)	

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)			
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容
伝送出力1 種類	CMLP > RET	RET1	OFF:機能しない 1:PV1(初期値) 2:SP1 3:OUT1 4:LPSセンサ用供給電源(15V) 5:PV2 6:SP2 7:OUT2 設定値5~7は、単ループ制御では使用できません。 伝送出力1は、常に⑭-⑰端子から出力されます。 位置比例制御を行っている場合、設定値に“3”を設定したとき、弁開度(0~100%)が伝送されます。 加熱冷却制御を行っている場合、設定値に“3”を設定したとき、加熱と冷却に振り分ける前の出力値が伝送されます。 (0~50%:冷却側出力、50~100%:加熱側出力)	EASY		RTS	OFF:未設定 PV1:PV(初期値) SP1:SP OUT1:OUT(位置比例制御時、弁開度(0~100%)) LPS:15VDC センサ用供給電源 PV2:第2ループPV SP2:第2ループSP OUT2:第2ループOUT TSP1:到達SP HOUT1:加熱側OUT COUT1:冷却側OUT MV1:位置比例出力(内部演算値) TSP2:第2ループ到達SP HOUT2:第2ループ加熱側OUT COUT2:第2ループ冷却側OUT MV2:第2ループ位置比例出力(内部演算値) PV:PV端子アナログ入力 RSP:RSP端子アナログ入力 AIN2:AIN2端子アナログ入力 AIN4:AIN4端子アナログ入力
伝送出力1 スケール最大値		RTH1	RET1=1,2:RTL1+1digit~測定入力レンジの100.0 % 初期値:測定入力レンジの100.0%			RTH	RTS=PV1、SP1、PV2、SP2、TSP1、TSP2、PV、RSP、AIN2、AIN4の場合、RTL+1digit ~ 30000-19999 ~ RTH-1digit 初期値:RTH:PV入力レンジの100%、RTL:PV入力レンジの0% 小数点位置: RTS=PV1、SP1、TSP1の場合、PV入力の小数点位置と同じ RTS=PV2、SP2、TSP2の場合、RSP入力の小数点位置と同じ RTS=PVの場合、PV入力のスケール小数点位置と同じ RTS=RSPの場合、RSP入力のスケール小数点位置と同じ RTS=AIN2の場合、AIN2入力のスケール小数点位置と同じ RTS=AIN4の場合、AIN4入力のスケール小数点位置と同じ
伝送出力1 スケール最小値		RTL1	RET1=1,2:測定入力レンジの0.0%~RTH1-1digit 初期値:測定入力レンジの0.0%	STD		RTL	RTS=PV1、SP1、TSP1の場合、PV入力の小数点位置と同じ RTS=PVの場合、PV入力のスケール小数点位置と同じ RTS=RSPの場合、RSP入力のスケール小数点位置と同じ RTS=AIN2の場合、AIN2入力のスケール小数点位置と同じ RTS=AIN4の場合、AIN4入力のスケール小数点位置と同じ
伝送出力2 種類		RET2	RET1と同じ(初期値OFF) 伝送出力2は、制御出力が電流または電圧パルス以外のときに使用できません。出力端子は⑰-⑱端子です。			O2RS	RTSと同じ(初期値OFF)
伝送出力2 スケール最大値	RTH2	RET2=1,2:RTL2+1digit~測定入力レンジの100.0 %			O2RH	RTHと同じ	
伝送出力2 スケール最小値	RTL2	RET2=1,2:測定入力レンジの0.0%~RTH2-1digit			O2RL	RTLと同じ	
偏差トレンド画面トレンドスケール LOOP1用	CMLP > TRND	TSC1	測定入力レンジスパンの0.1~100.0 % 初期値:測定入力レンジスパンの5.0%			なし	機能なし トレンド表示画面がないため、このパラメータがありません。
偏差トレンド画面トレンドスケール LOOP2用		TSC2	測定入力レンジスパンの0.1~100.0 % 初期値:測定入力レンジスパンの5.0%			なし	機能なし トレンド表示画面がないため、このパラメータがありません。
偏差トレンド画面トレンドタイム		TTM	1~600秒 初期値:5秒			なし	機能なし トレンド表示画面がないため、このパラメータがありません。

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)					
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容		
データ設定用の(▲、▼)キーロック	CMLP > LOCK	▼ / ▲	OFF:ロック解除(初期値)、ON:ロック	STD		DATA	OFF:ロック解除(初期値)、ON:ロック		
計器前面のPT.Noキーロック		PT.No				PTN			
計器前面のRUNキーロック		RUN				RUN			
計器前面のMODEキーロック		MODE				MODE			
SP表示画面ロック	なし	機能なし	機能なし	PRO	KLOC	U.SP	OFF:表示(初期値)、ON:非表示		
TSP表示画面ロック						U.TSP			
残りセグメント時間表示画面ロック						U.TM			
OUT表示画面ロック						U.OUT		OFF:表示(初期値)、ON:非表示(カスケード制御では初期値ON)	
加熱冷却OUT表示画面ロック						U.HCO		OFF:表示(初期値)、ON:非表示	
バルブ位置表示画面ロック						U.VP			
位置比例演算出力値表示画面ロック						U.MV		OFF:表示、ON:非表示(初期値)	
PID番号表示画面ロック						U.PID		OFF:表示(初期値)、ON:非表示	
セグメント番号表示画面ロック						U.SEG			
残りリピート回数表示画面ロック						U.RCY			
プログラムパターン表示画面ロック						U.PTN		OFF:表示(初期値)、ON:非表示	
警報5~8ステータス表示画面ロック						U.AL			OFF:表示、ON:非表示(初期値)
ヒータ断線警報電流値表示画面ロック						U.HC			OFF:表示(初期値)、ON:非表示
PV2/PV1表示画面ロック						U.PV1			
PV1/PV2表示画面ロック						U.PV2			
PVアナログ入力値表示画面ロック						U.PV		OFF:表示	
RSPアナログ入力値表示画面ロック						U.RSP		ON:非表示(初期値)(2入力切替制御、入力選択制御では初期値OFF)	
AIN2アナログ入力値表示画面ロック						U.AI2		OFF:表示、ON:非表示(初期値)(入力選択制御では初期値OFF)	
AIN4アナログ入力値表示画面ロック						U.AI4			
通信書き込み禁止/許可						COM.W			OFF:許可(初期値)、ON:禁止
計器前面のRSTキーロック	CMLP > LOCK	PROG	OFF:ロック解除(初期値)、ON:ロック	PRO	MLOC	RST	OFF:ロック解除(初期値)、ON:ロック		
メインメニューのPROG画面						PROG	PROG	OFF:表示(初期値)、ON:非表示	
運転パラメータメインメニューのLP1画面をロック						LP1	なし	機能なし(LP1、LP2という区別がないため、このグループ表示がありません。)	
運転パラメータサブメニューのPID画面をロック						PID	PID	OFF:表示(初期値)、ON:非表示	
ユーザーパラメータのメニューをロック	USR	なし	機能なし(USERパラメータというパラメータがないため、このグループ表示がありません。)						
運転パラメータのメインメニューの中のPYS1画面をロック	CMLP > LOCK	PYS1	OFF:表示(初期値)、ON:非表示	PRO	MLOC	PYS1	OFF:表示(初期値)、ON:非表示		

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)			
	グループ	パラメータ 記号	内容	表示 レベル	メニュー	パラメータ 記号	内容
パスワード登録	CMLP > LOCK	PWD	0:パスワード未設定(初期値) 1~30000 (注)パスワードを設定した場合、次回パスワードを入力しないとセット アップモードに入れません。"	EASY	SYS	PASS	0(パスワード未設定)(初期値) 1~65535 (注)パスワードを設定した場合、次回パスワードを入力しないとセット アップパラメータのメニューに入れません。
メニュー「CTL」ロック		なし	機能なし	PRO	MLOC	CTL	OFF:表示(初期値)、ON:非表示
メニュー「PV」ロック						PV	
メニュー「RSP」ロック						RSP	
メニュー「AIN2」ロック						AIN2	
メニュー「AIN4」ロック						AIN4	
メニュー「MPV」ロック						MPV	
メニュー「OUT」ロック						OUT	
メニュー「HBA」ロック						HBA	
メニュー「R485」ロック						R485	
メニュー「ETHR」ロック						ETHR	
メニュー「PROF」ロック						PROF	
メニュー「DNET」ロック						DNET	
メニュー「CC-L」ロック						CC-L	
メニュー「KEY」ロック						KEY	
メニュー「DISP」ロック						DISP	
メニュー「CSEL」ロック						CSEL	
メニュー「KLOC」ロック						KLOC	
メニュー「DI.SL」ロック						DI.SL	
メニュー「DI.NU」ロック						DI.NU	
メニュー「DI.D」ロック						DI.D	
メニュー「ALM」ロック						ALM	
メニュー「DO」ロック						DO	
メニュー「I/O」ロック						I/O	
メニュー「SYS」ロック						SYS	
メニュー「INIT」ロック						INIT	
メニュー「VER」ロック						VER	
メニュー「LVL」ロック						LVL	
メニュー「MODE」ロック						MODE	
メニュー「CS」ロック						CS	
メニュー「PROG」ロック						PROG	
メニュー「LOC」ロック		LOC					
メニュー「EDIT」ロック		EDIT					
メニュー「AL」ロック		AL					
メニュー「SPS」ロック		SPS					
メニュー「ALRM」ロック		ALRM					
メニュー「PVS」ロック		PVS					
メニュー「PID」ロック		PID					
メニュー「TUNE」ロック		TUNE					
メニュー「ZONE」ロック		ZONE					
メニュー「PPAR」ロック		PPAR					

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)			
	グループ	パラメータ 記号	内容	表示 レベル	メニュー	パラメータ 記号	内容
メニュー「PYS1」ロック		なし	機能なし	PRO	MLOC	PYS1	OFF:表示(初期値)、ON:非表示
メニュー「PYS2」ロック						PYS2	
メニュー「PYS3」ロック						PYS3	
メニュー「PYS4」ロック						PYS4	
セレクト画面1～5登録	CONF > CSEL	C.S1 ~ C.S5	OFF(初期値)、101～1023 表示させたいパラメータを運転パラメータまたはセットアップパラメータの中から選択し、そのパラメータに付随する番号(Dレジスタ番号)を登録します。	STD	CSEL	C.S1 ~ C.S5	OFF:登録なし(初期値) Dレジスタ番号(2201～7000)
セレクトパラメータ10～19登録		なし	機能なし	PRO		C.S10 ~ C.S19	OFF:登録なし(初期値) Dレジスタ番号(2201～5000)
DO1～DO5出力登録	CONF > DO	D01 ~ D05	下記の設定値は、単ループ制御時のみの登録番号です。 5705:PVイベント1出力(DO1の初期値) 5706:PVイベント2出力(DO2の初期値) 5689:計器警報1出力(DO3の初期値) 5129:タイムイベント1出力(DO4の初期値) 5130:タイムイベント2出力(DO5の初期値)	STD	DO	D01.S ~ D05.S	E1～E3端子エリアにそれぞれ割り付けを実施します。 初期値: DO11=4805、DO12=4806、DO13=4807、DO14=4809、DO15=4810、 DO21=4817、DO22=4818、DO23=4819、DO24=4821、DO25=4822、 DO31=4823、DO32=4825、DO33=4826、DO34=4833、DO35=4834
DO6出力登録		D06	5131:タイムイベント3出力(DO6の初期値)			なし	機能なし
DO7出力登録		D07	5133:タイムイベント4出力(DO7の初期値) 0:機能なし				E1～E3端子のDO1～DO5に割り付けてください。

項目	GREEN (UP550)			UTAdvanced (UP55A)																																												
	グループ	パラメータ記号	内容	表示レベル	メニュー	パラメータ記号	内容																																									
プログラム運転開始への切替	CONF > DI	PROG	機能の切替をどの接点入力で行うかを設定します。	STD	DI.SL	PRG	接点入力のIリレー番号を設定します。 未設定にする場合はOFFを設定します。 設定範囲:OFF、4001～6304 標準端子 DI1:5025、DI2:5026、DI3:5027 E1 端子エリア DI11:5041、DI12:5042、DI13:5043、DI14:5044、DI15:5045、DI16:5046 E2 端子エリア DI21:5057、DI22:5058、DI23:5059、DI24:5060、DI25:5061、DI26:5062 E3 端子エリア DI31:5073、DI32:5074、DI33:5075、DI34:5076、DI35:5077 E4 端子エリア DI41:5089、DI42:5090、DI43:5091、DI44:5092、DI45:5093、DI46:5094																																									
プログラム運転停止への切替		RST	DI1:5161、DI2:5162、DI3:5163、DI4:5164、DI5:5165、DI6:5166、			RST																																										
ローカル運転開始への切替		LOC	DI7:5167、DI8:5168、機能なし:0			LOC																																										
リモートへの切替	なし	機能なし	機能なし			REM																																										
プログラム運転開始/停止切替						P/R																																										
プログラム運転/ホールド運転切替						P/H																																										
プログラム運転/ローカル運転切替	CONF > DI	HOLD	機能の切替をどの接点入力で行うかを設定します。 DI1:5161、DI2:5162、DI3:5163、DI4:5164、DI5:5165、DI6:5166、			P/L																																										
ホールド運転への切替						ADV		DI7:5167、DI8:5168、機能なし:0	HOLD																																							
アドバンス (セグメント強制移行)						WAIT		機能なし	ADV																																							
ウェイトオン/オフ切替	なし	機能なし	S.HLD																																													
プログラム同期運転用ホールド 運転開始			PRO	A/M																																												
グループ1自動/手動切替			CONF > DI	A/M1	機能の切替をどの接点入力で行うかを設定します。 DI1:5161、DI2:5162、DI3:5163、DI4:5164、DI5:5165、DI6:5166、	STD	L/C	標準端子																																								
ローカル/カスケード切替	L/C	DI7:5167、DI8:5168、機能なし:0																																														
オートチューニング起動/停止切替	なし	機能なし	機能なし	PRO	AT	DI1:5025、DI2:5026、DI3:5027 E1 端子エリア																																										
出力トラッキング切替					TRK	DI11:5041、DI12:5042、DI13:5043、DI14:5044、DI15:5045、DI16:5046																																										
2入力切替					SW	E2 端子エリア																																										
警報ラッチ解除				STD	機能なし	機能なし	LAT	DI21:5057、DI22:5058、DI23:5059、DI24:5060、DI25:5061、DI26:5062																																								
LCDバックライトオン/オフ切替							LCD	E3 端子エリア																																								
PV赤色/白色切替							PVRW	DI31:5073、DI32:5074、DI33:5075、DI34:5076、DI35:5077																																								
								DI41:5089、DI42:5090、DI43:5091、DI44:5092、DI45:5093、DI46:5094																																								
プログラムパターン番号指定時のビット0～ビット4	CONF > DI	PTN.0～PTN.4	プログラムパターン番号切替	EASY	DI.NU	PT.B0～PT.B4																																										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DI1</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>DI2</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>DI3</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>DI4</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					1	2	3	4	5	6	7	8	DI1	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	DI2	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	DI3	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	DI4	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
	1	2	3	4	5	6	7	8																																								
DI1	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF																																								
DI2	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF																																								
DI3	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF																																								
DI4	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																									
プログラムパターン番号指定時のビット5～ビット7		なし	機能なし			PT.B5～PT.B7																																										
メッセージ割込み表示1～4	CONF > DI	MG1～MG4	機能の切替をどの接点入力で行うかを設定します。 DI1:5161、DI2:5162、DI3:5163、DI4:5164、DI5:5165、DI6:5166、 DI7:5167、DI8:5168、機能なし:0	PRO	DI.SL	MG1～MG4																																										

改訂情報

資料名称 : プログラム調節計 リプレースガイド (仕様編)

資料番号 : TI 05A03A01-08JA

2026年3月 / 初版

新規発行

-
- 著作者 横河電機株式会社
 - 発行者 横河電機株式会社
〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32
-